

社会科教室

第 128 号

平成4年度総会特集号

- ・組織と運営
- ・年間計画
- ・研究主題
- ・会員名簿

9
池田

香川県小学校教育研究会社会部会
香川県社会科教育研究会

郡市
会長 殿

平成4年10月31日 公
香川県社会科教育研究会 印
会長 亀井達男 略

第29回全国社会科教育研究大会参加者について（報告）

庭で鳴く虫の声にも秋ふかしの語が感じられる今日このごろです。
さて、先日お忙しい日々のなか大会の参加者の状況について、お知らせ
くださりまして有難うございました。参加者については下記の状況です。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総4	総6	計
高松	7	10	14	16	14	12	3	5	81
坂出	2	0	0	6	3	7	1	1	20
丸亀	2	0	1	2	6	6	1	1	19
小豆	1	2	3	4	2	4	0	0	16
大川	8	15	12	12	33	15	5	5	105
木田	0	0	5	2	3	2	0	0	12
香川	3	1	3	3	3	4	4	2	23
綾歌	2	2	3	4	5	5	0	3	24
中善	2	1	4	4	4	3	0	0	18
三観	4	3	5	7	7	7	1	2	36
計	31	34	50	60	80	65	15	19	354
県外	4	1	6	10	6	21	3	2	51
総計	35	35	56	70	86	86	18	21	405

は　じ　め　に

香川県小学校教育研究会社会科部会
香 川 県 社 会 科 教 育 研 究 会
会　　長　　亀　井　達　男

本年度の香社研総会で会長の職を命じられました。非力の身でございます故、どうぞ、旧倍の会員の皆様のご協力と先輩の諸先生方のご指導・ご援助を心よりお願い申し上げます。

さて、本年度のスタートにあたり二つの願いと計画についてお知らせいたします。

一つは、控えめでいて本当は資質もあり実力を持っておる香社研の女子のメンバーの皆さんを香社研の中で十分活躍戴き提言も戴き男子の「春の海」の如き者への指導者にもという願いで今年女子部を創設しました。

二つは、郡市間の連携を今より以上に強めてまいりたい。年に何回か郡市の会長会も開きたい。西から東へ、東から中部へ小豆へといった月例会の動きがやや鈍くなったのでないか・・・と言う心配があります。

かつての若もの・中堅層の活発さ、いいえ熱気のあった香社研になるよう、諸々の試みも行い、自由な討議を時間をかけて行うよう、まず月例会の参加を郡市協力して盛り上げていこう。ということです。

以上、二つをささやかであるが、学ぶ集団作りの努力の基本になる願いを申し上げ会員の皆さんと共に、また先輩の方々の温かいご指導を戴き、熱情を持って香社研の一員として努めて参りたいと心に決めました。

次に、第29回全国社会科教育研究大会（香川大会）の盛会を願い研究を進めて参りたいと思います。

主題として「自ら学び、自らのよさを生かそうとする児童の育成」

－社会科・生活科を中心として－

を掲げ、三本松小学校を会場として研究大会が行われます。会員の総力を結集して大会を迎えたいものと願っております。

平成3年度 定例研究会

- 6月定例会・・・三観（河内小学校） 6月 1日
 6年 「源 頼朝と鎌倉幕府」
 授業者 安藤 清和（河内小）
 提案者 宮武 昭裕（桑山小）
 指導者 大西 孝典（常任指導者）
- 6月定例会・・・大川（造田小学校） 6月29日
 5年 「造田にやってきた村上製作所」
 授業者 大高 哲也（造田小）
 提案者 三井 重彰（多和小）
 指導者 岡田 弘治先生（常任指導者）
- 9月定例会・・・高松（四番丁小学校） 9月21日
 5年 「伝統を生かす工業 ～香川漆器～」
 授業者 金崎 美穂（四番丁小）
 提案者 松川 幸代（亀阜小）
 指導者 高橋 英式先生（高松市教委）
- 10月定例会・・・丸亀（城坤小学校） 10月26日
 4年 「道と私たち～大久保じん之丞さんから学ぼう～」
 授業者 北分 英樹（城坤小）
 提案者 山野 正登（城坤小）
 指導者 岡根 淳二先生（観音寺市教委）
- 11月定例会・・・坂出（林田小学校） 11月 2日
 5年 「新聞の持つ働きについて調べよう」
 授業者 吉田 和弘（林田小）
 提案者 虫本 利久（川津小）
 指導者 猪熊 一生先生（坂出市教委）
- 11月定例会・・・香川（大野小学校） 11月19日
 5年 「広がる環境汚染」
 授業者 小原 敏昭（大野小）
 提案者 野口 泰三（浅野小）
 指導者 高橋 英式先生（高松市教委）
- 1月定例会・・・綾歌（飯山南小学校） 2月 1日
 6年 「日本と関係の深い国の人々の生活～韓国～」
 授業者 丹後 靖史（飯山南小）
 提案者 徳永 桂子（飯山南小）
 指導者 竹下 和男先生（県教委、綾歌分室）
- 2月定例会・・・仲善（善通寺東部小学校） 2月15日
 6年 「日本と関係の深い国の人々の生活」
 ー オーストラリア ー
 授業者 高橋 義徳（善通寺東部小学校）
 提案者 橋塚 智教（琴南東小）
 指導者 大西 孝典先生（常任指導者）

8月2日(金)

(※ 進行……三本松小 堀 紀明 教頭)

時刻	内	容																																																								
9:30	提案授業	<table border="1"> <tr> <th>学 年</th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>4 年</th><th>5 年</th><th>6 年</th></tr> <tr> <td>単元名</td><td>わたしの家族</td><td>私たちの大内まつりをしよう</td><td>農家の仕事の工夫 —パセリづくり—</td><td>平袋の町 —棚次展覧—</td><td>私たちの町の訪問 工業 —更作訪問—</td><td>銅鑼の扉をたたく者 —井伊直弼—</td></tr> <tr> <td>授業者</td><td>久詰 好子(三本松)</td><td>熊田 春美(三本松)</td><td>上村 京子(三本松)</td><td>石田 佳二(三本松)</td><td>児嶋 育代(三本松)</td><td>大西 和美(三本松)</td></tr> <tr> <td>協 助</td><td>谷本 量子(松山)</td><td>大前 浩美(香西)</td><td>柴田 英明(豊浜)</td><td>久保山 学(郡家)</td><td>片井 功(多度津)</td><td>野村 一夫(網田)</td></tr> <tr> <td>力 助</td><td>石塚 恵子(津田)</td><td>三好真由美(白鳥)</td><td>森田 宏院(相生)</td><td>松村 和仁(多和)</td><td>田村 秀忠(志度)</td><td>窪田 史子(相生)</td></tr> <tr> <td>者 助</td><td>國方 敬子(志度)</td><td>大崎 真弓(本町)</td><td>竹田 具治(丹生)</td><td>六車 功(中央)</td><td>大森 哲也(造田)</td><td>竹内 久司(鶴羽)</td></tr> <tr> <td>記録者</td><td>小山 久美(造田)</td><td>梅本 明宏(志度)</td><td>岩崎 安純(本町)</td><td>古澤 哲夫(福栄)</td><td>亀井 健男(白鳥)</td><td>大石 桂司(中央)</td></tr> <tr> <td>主 任</td><td>多田 敬三(長尾)</td><td>安部 静代(鶴羽)</td><td>大山 博文(志度)</td><td>向山智恵子(引田)</td><td>大崎 真由(丹生)</td><td>佐藤 正文(本町)</td></tr> </table>	学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	単元名	わたしの家族	私たちの大内まつりをしよう	農家の仕事の工夫 —パセリづくり—	平袋の町 —棚次展覧—	私たちの町の訪問 工業 —更作訪問—	銅鑼の扉をたたく者 —井伊直弼—	授業者	久詰 好子(三本松)	熊田 春美(三本松)	上村 京子(三本松)	石田 佳二(三本松)	児嶋 育代(三本松)	大西 和美(三本松)	協 助	谷本 量子(松山)	大前 浩美(香西)	柴田 英明(豊浜)	久保山 学(郡家)	片井 功(多度津)	野村 一夫(網田)	力 助	石塚 恵子(津田)	三好真由美(白鳥)	森田 宏院(相生)	松村 和仁(多和)	田村 秀忠(志度)	窪田 史子(相生)	者 助	國方 敬子(志度)	大崎 真弓(本町)	竹田 具治(丹生)	六車 功(中央)	大森 哲也(造田)	竹内 久司(鶴羽)	記録者	小山 久美(造田)	梅本 明宏(志度)	岩崎 安純(本町)	古澤 哲夫(福栄)	亀井 健男(白鳥)	大石 桂司(中央)	主 任	多田 敬三(長尾)	安部 静代(鶴羽)	大山 博文(志度)	向山智恵子(引田)	大崎 真由(丹生)	佐藤 正文(本町)
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年																																																				
単元名	わたしの家族	私たちの大内まつりをしよう	農家の仕事の工夫 —パセリづくり—	平袋の町 —棚次展覧—	私たちの町の訪問 工業 —更作訪問—	銅鑼の扉をたたく者 —井伊直弼—																																																				
授業者	久詰 好子(三本松)	熊田 春美(三本松)	上村 京子(三本松)	石田 佳二(三本松)	児嶋 育代(三本松)	大西 和美(三本松)																																																				
協 助	谷本 量子(松山)	大前 浩美(香西)	柴田 英明(豊浜)	久保山 学(郡家)	片井 功(多度津)	野村 一夫(網田)																																																				
力 助	石塚 恵子(津田)	三好真由美(白鳥)	森田 宏院(相生)	松村 和仁(多和)	田村 秀忠(志度)	窪田 史子(相生)																																																				
者 助	國方 敬子(志度)	大崎 真弓(本町)	竹田 具治(丹生)	六車 功(中央)	大森 哲也(造田)	竹内 久司(鶴羽)																																																				
記録者	小山 久美(造田)	梅本 明宏(志度)	岩崎 安純(本町)	古澤 哲夫(福栄)	亀井 健男(白鳥)	大石 桂司(中央)																																																				
主 任	多田 敬三(長尾)	安部 静代(鶴羽)	大山 博文(志度)	向山智恵子(引田)	大崎 真由(丹生)	佐藤 正文(本町)																																																				
10:15																																																										
10:30	分科会	<table border="1"> <tr> <th>学 年</th><th>1 年</th><th>2 年</th><th>3 年</th><th>4 年</th><th>5 年</th><th>6 年</th></tr> <tr> <td>司会者</td><td>香川 浩子(城東)</td><td>黒川 紀子(香西)</td><td>唐木 裕志(金山)</td><td>香川 佳和(栗館)</td><td>宮武 昭裕(桑山)</td><td>亀山 典良(高野)</td></tr> <tr> <td>提案者</td><td>高橋夕香里(亀泉)</td><td>鈴木 育代(中央)</td><td>市原 茂幹(栗林)</td><td>波多 誠(国北)</td><td>増井 孝弘(城東)</td><td>福家 正人(太田)</td></tr> <tr> <td>力 助</td><td>多田 敬三(長尾)</td><td>三好真由美(白鳥)</td><td>白澤 一修(富田)</td><td>松村 和仁(多和)</td><td>田村 秀忠(志度)</td><td>窪田 史子(相生)</td></tr> <tr> <td>記録者</td><td>長榮佳代美(苗田)</td><td>佐藤 和代(林田)</td><td>安藤 雅慶(飯北)</td><td>宮武 克明(東岡)</td><td>安藤 通(勝岡)</td><td>榎原 一宏(中礼)</td></tr> <tr> <td>指導者</td><td>渡邊久仁子(島根)</td><td>岡根 淳二(観教)</td><td>青根 照正(西部)</td><td>岡田 弘治(川添)</td><td>大西 孝典(附坂)</td><td>上川 教生(附高)</td></tr> </table>	学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	司会者	香川 浩子(城東)	黒川 紀子(香西)	唐木 裕志(金山)	香川 佳和(栗館)	宮武 昭裕(桑山)	亀山 典良(高野)	提案者	高橋夕香里(亀泉)	鈴木 育代(中央)	市原 茂幹(栗林)	波多 誠(国北)	増井 孝弘(城東)	福家 正人(太田)	力 助	多田 敬三(長尾)	三好真由美(白鳥)	白澤 一修(富田)	松村 和仁(多和)	田村 秀忠(志度)	窪田 史子(相生)	記録者	長榮佳代美(苗田)	佐藤 和代(林田)	安藤 雅慶(飯北)	宮武 克明(東岡)	安藤 通(勝岡)	榎原 一宏(中礼)	指導者	渡邊久仁子(島根)	岡根 淳二(観教)	青根 照正(西部)	岡田 弘治(川添)	大西 孝典(附坂)	上川 教生(附高)														
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年																																																				
司会者	香川 浩子(城東)	黒川 紀子(香西)	唐木 裕志(金山)	香川 佳和(栗館)	宮武 昭裕(桑山)	亀山 典良(高野)																																																				
提案者	高橋夕香里(亀泉)	鈴木 育代(中央)	市原 茂幹(栗林)	波多 誠(国北)	増井 孝弘(城東)	福家 正人(太田)																																																				
力 助	多田 敬三(長尾)	三好真由美(白鳥)	白澤 一修(富田)	松村 和仁(多和)	田村 秀忠(志度)	窪田 史子(相生)																																																				
記録者	長榮佳代美(苗田)	佐藤 和代(林田)	安藤 雅慶(飯北)	宮武 克明(東岡)	安藤 通(勝岡)	榎原 一宏(中礼)																																																				
指導者	渡邊久仁子(島根)	岡根 淳二(観教)	青根 照正(西部)	岡田 弘治(川添)	大西 孝典(附坂)	上川 教生(附高)																																																				
12:00	昼食・休憩																																																									
13:00	研究発表 本部提案 — 社会科「調べ学習」の展開と課題 — 提案者 池田 孝徳 (附属高松小学校)																																																									
13:30	研究発表 (1) 大 社 研 研究部 自ら学び、生き方を見直そうとする社会科・生活科学習 三井 重彰 (多和小) (2) 三本松小 現教部 地域教材における国際理解的な視点に立って 山下 博 (三本松小)																																																									
14:30																																																										
14:40	— 講 評 — 講師 文部省 教科調査官 高野 尚好 先生 記録者 安倍 幸則 (木太南小)																																																									
16:00	閉会																																																									

8月3日(土)

(※ 進行……附属坂出小 岩倉隆視)

場	時刻	内 容
坂 出 市 ふ れ あ い 会 館	9:30	実践発表 今、社会科学習で求めたいこと — 新学習指導要領の主旨を踏まえて — 司会者 宇山知昌(附属坂出小学校) 実践発表者 ・ 旅田敏弘(附属高松小学校) ・ 上井 嘉(太田小) ・ 田中秀年(櫃石小) ・ 末澤康彦(枋所小) ・ 前川保雄(琴平小) ・ 原 直史(観東小) 記録者 古市礼恵(平井小)
	10:45	
	11:00	講演 1 演題 「新社会科が求める授業と学校づくり」 — 実践発表を踏まえて — 講師 高松短期大学 講師 池内 博 先生 記録者 三木克彦(福田小)
	12:30	
	13:30	講演 2 演題 「社会科の学習指導と評価」 講師 文部省 教科調査官 高野尚好 先生 記録者 増田敏之(直島小)
	15:00	閉会式

2 平成4年度の組織と運営

(1) 組織について

⑦ 会長等の役員

	氏 名	学 校 名	〒	学 校 所 在 地	学 校 電 話
会 長	亀井 達男	大・津田小	769-24	大・津田町津田144	0879-42-2047
副会長	岡田 弘治	高・川添小	761-03	高・東山崎町207-1	0878-43-5058
副会長	曾根 照正	坂・西部小	762	坂・白金町1-3-7	0877-46-2149
会 計	吉岡 浩一	大・造田小	769-23	大・造田町造田是弘688-1	0879-52-2141
監 査	中田 清	三・高室小	768	観・高屋町1877-1	0875-25-2661

④ 顧 問

(歴代会長) 杉岡 茂 神原 萬吉 高嶋 利市 左柳 正
 岩倉 良行 糸川 達 東原 岩男 柳 清茂
 池内 博 岡野 啓 亀山 信夫 川田 豊弘

⑦ 総 務 池田 孝徳 岩倉 隆視

⑤ 郡市理事

⑨-事務局印

	郵便番号	郡 市	町 名	校 名	○	理 事 名	勤 電 話
高松	760	高 松		男木小	○	関 根 建 一	0878-73-0506
	760	"		四番丁小		植 松 勝	0878-51-8390
	761	"		一宮小	○	徳 田 仁 司	0878-85-1764
	761-03	"		川添小		森 正 彦	0878-47-6055
	761	"		太田小		上 井 嘉	0878-65-4433
丸亀	763	丸 亀	郡家町	郡家小		大 西 省 三	0877-28-8401
	763	"	瓦 町	城北小	○	石 川 裕 之	0877-24-4700
坂出	762	坂 出	坂出市	林田小		河 津 學	0877-47-0280
	762	"	"	東部小	○	川 中 祥 照	0877-46-0234
小豆	761-43	小 豆 郡	池田町	蒲生小		川 井 千代子	0879-75-0007
	761-41	"	土庄町	土庄小	○	羽 座 則 史	0879-62-0068
大川	769-26	大 川 郡	大内町	三本松小		安 部 武	0879-25-2664
	769-24	"	津田町	津田小		八 木 育 夫	0879-42-2047
	769-27	"	白鳥町	本町小	○	佐 藤 正 文	0879-25-3064

	郵便番号	郡 市	町 名	校 名	○	理 事 名	勤 電 話
木田	761-01	木 田 郡	牟 礼 町	牟 礼 小		北 堀 豊 清	0878-45-9239
	761-01	"	"	牟礼北小		高 尾 吉 臣	0878-45-5742
	761-01	"	"	牟礼南小	○	柏 徹 哉	0878-45-9324
香川	761-31	香 川 郡	直 島 町	直 島 小		鎌 野 修	0878-92-3007
	761-17	"	香 川 町	浅 野 小	○	小比賀 隆 之	0878-89-0215
綾歌	769-02	綾 歌	宇多津町	宇多津小		宮 本 昭 司	0877-49-1820
		"	綾 歌 町	岡 田 小	○	野 村 一 夫	0877-86-3004
仲・善	766	仲多度・普通寺	満 濃 町	四 条 小		篠 原 啓	0877-73-5514
	764	"	多度津町	多度津小	○	片 井 功	0877-33-1616
三・観		三 豊	高 瀬 町	二ノ宮小		三 崎 澄 久	0875-74-6302
		観 音 寺 市	観音寺市	高 室 小		中 田 清	0875-25-2661
	768-01	三 豊	山 本 町	大 野 小	○	平 川 博	0875-63-2009
		観 音 寺 市	観音寺市	観音寺南小		原 直 史	0875-25-4675

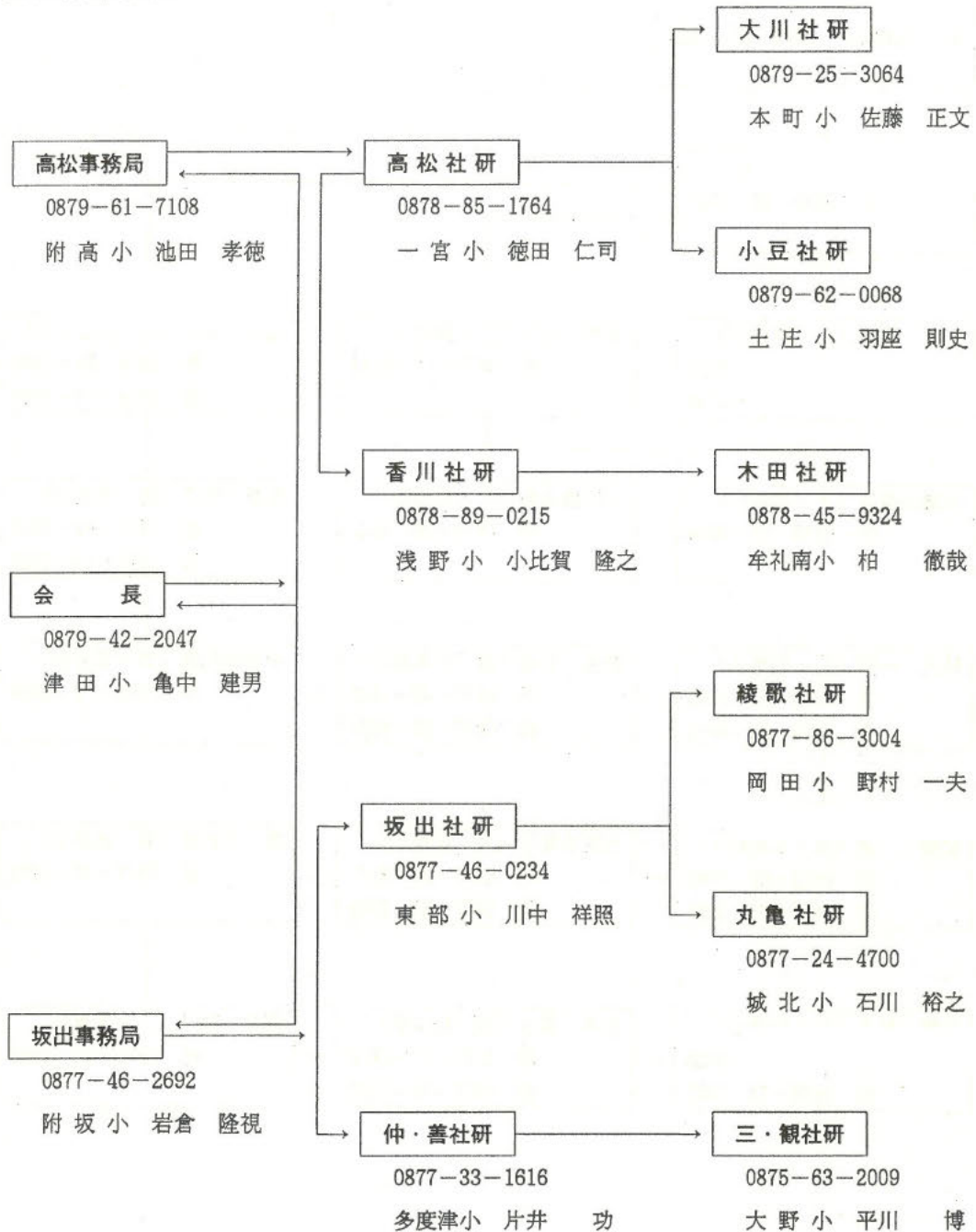
㊦ 香社研 平成4年度研究委員会組織

研究委員会・部長・副部長

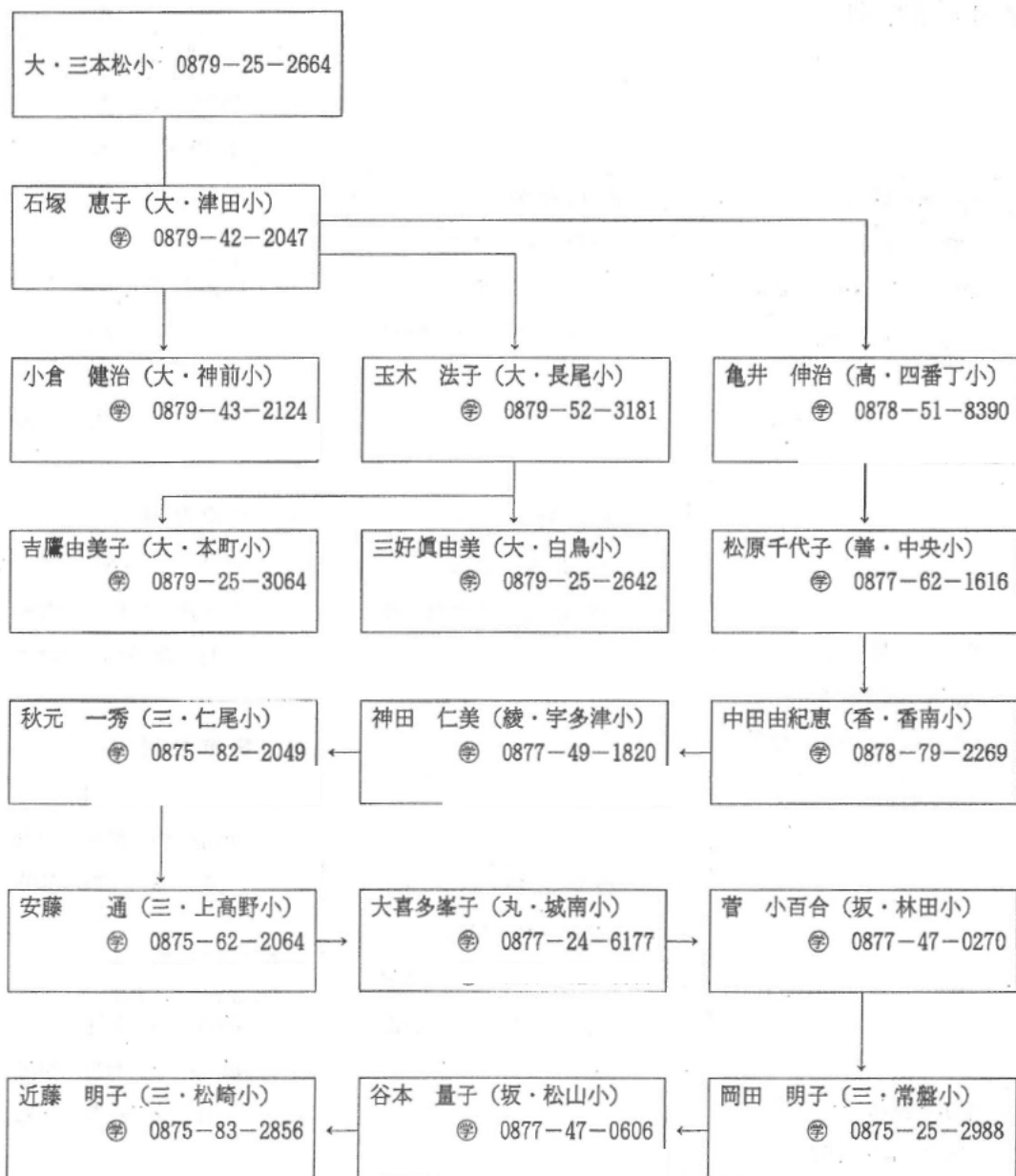
No	氏 名	学 校 名	学年	〒	学 校 所 在 地	学校電話	自宅電話
1	池 田 孝 徳	附 高 小	3	760	高・番町5丁目1-55	0878 61-7108	
2	岩 倉 隆 視	附 高 小	3	762	坂・文京町2-4-2	0877 46-2692	

7 連 絡 網

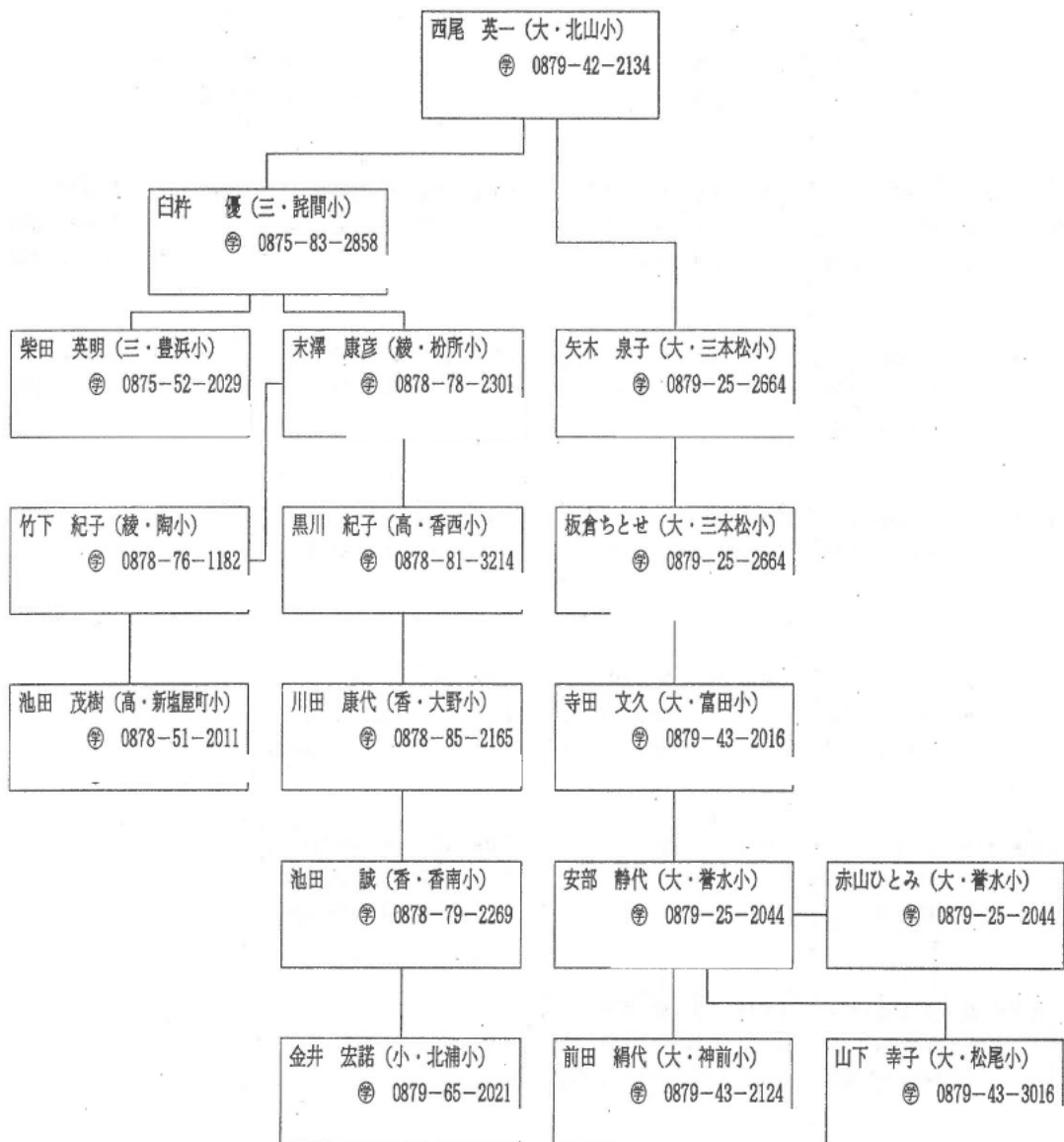
香社研連絡網



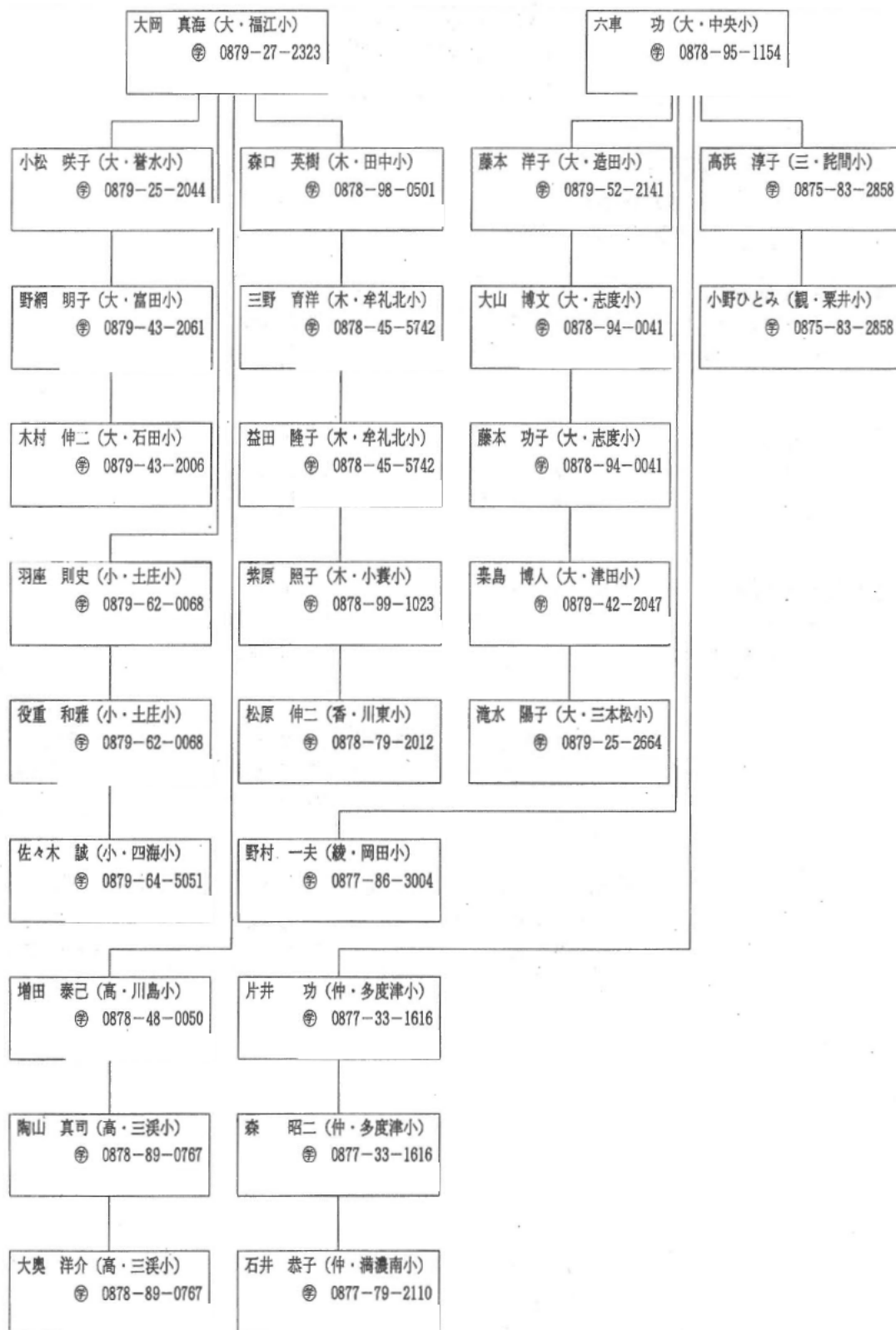
1年 課題別分科会連絡網



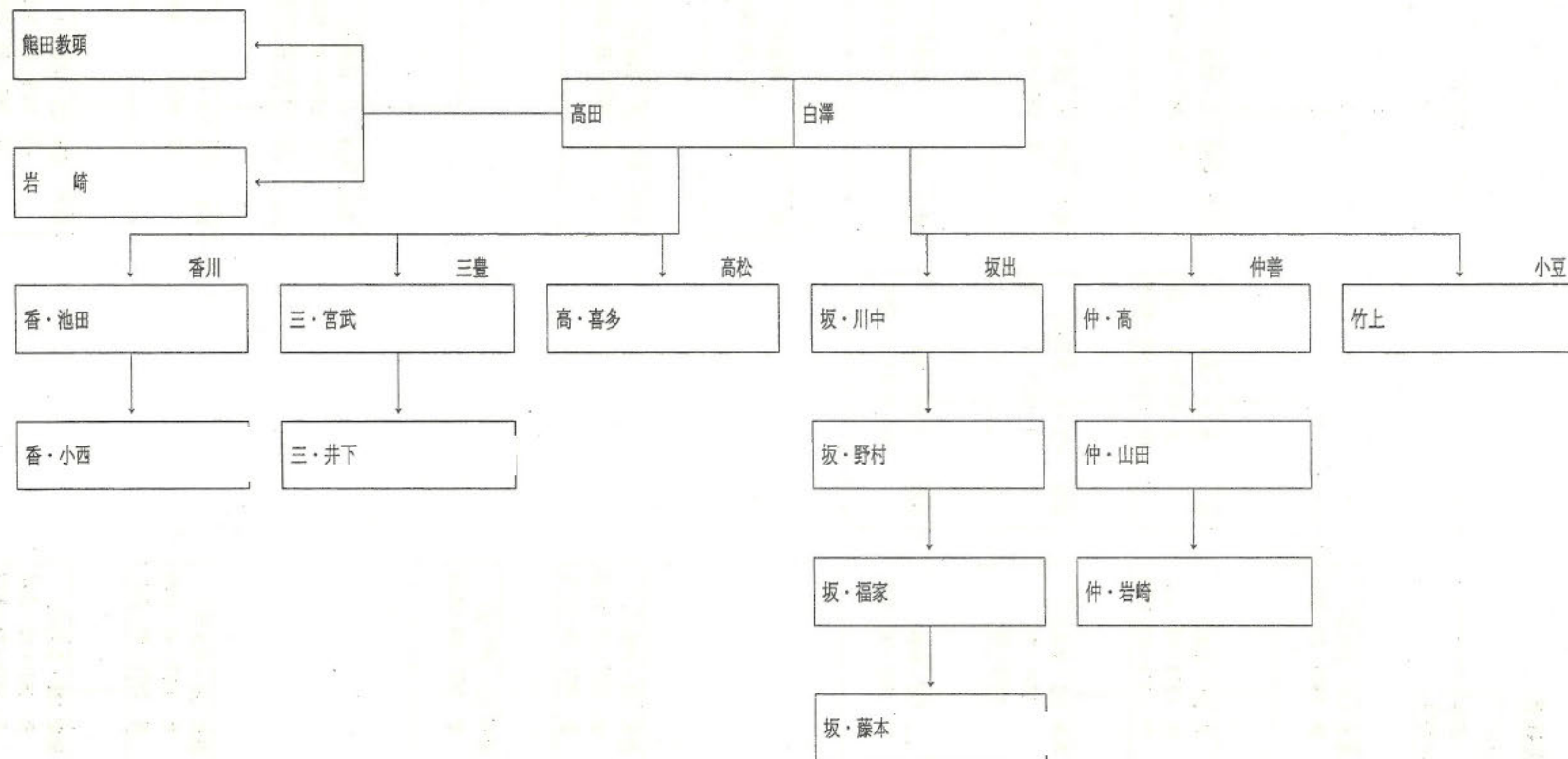
2年 課題別分科会連絡網



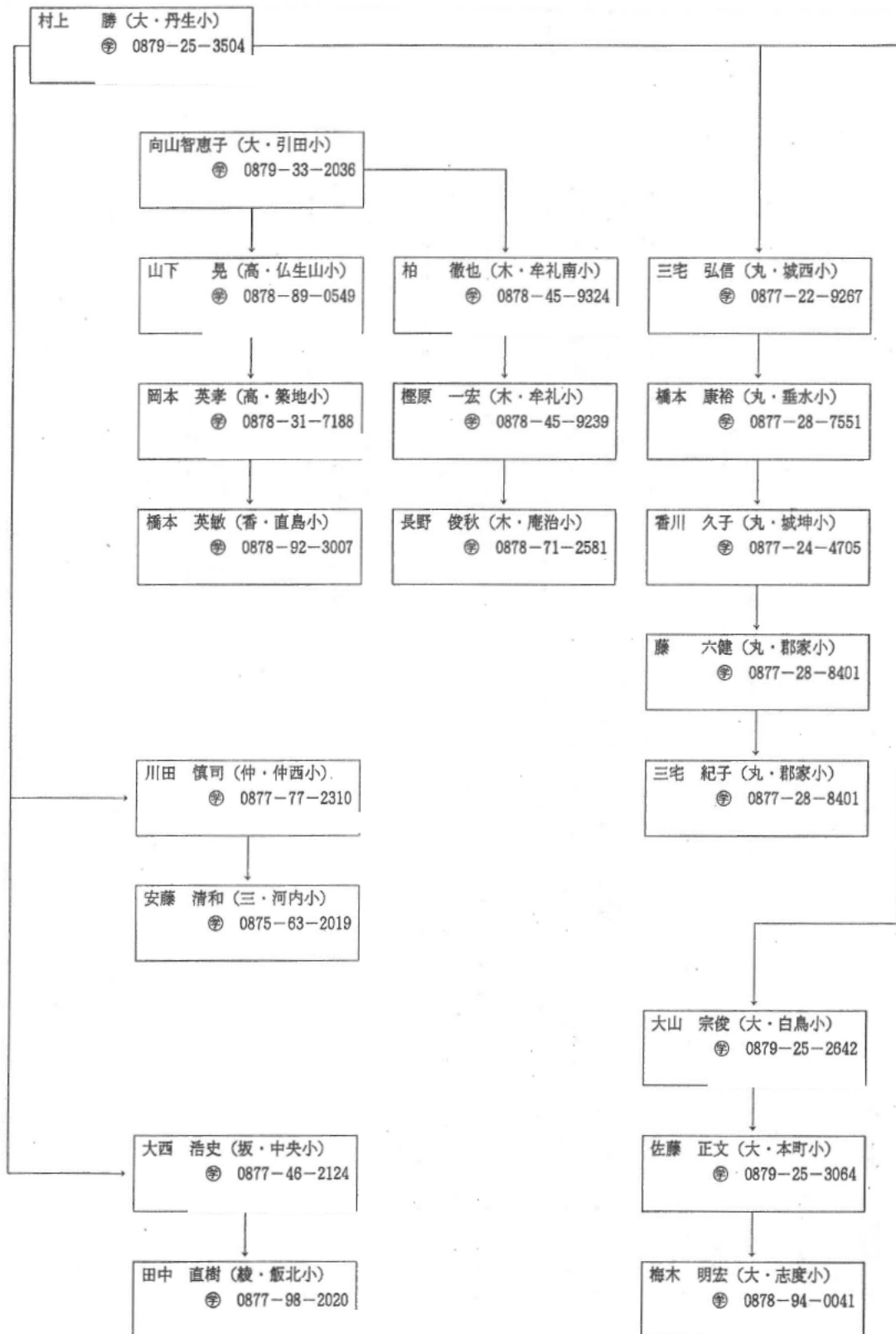
3年 課題別分科会連絡網

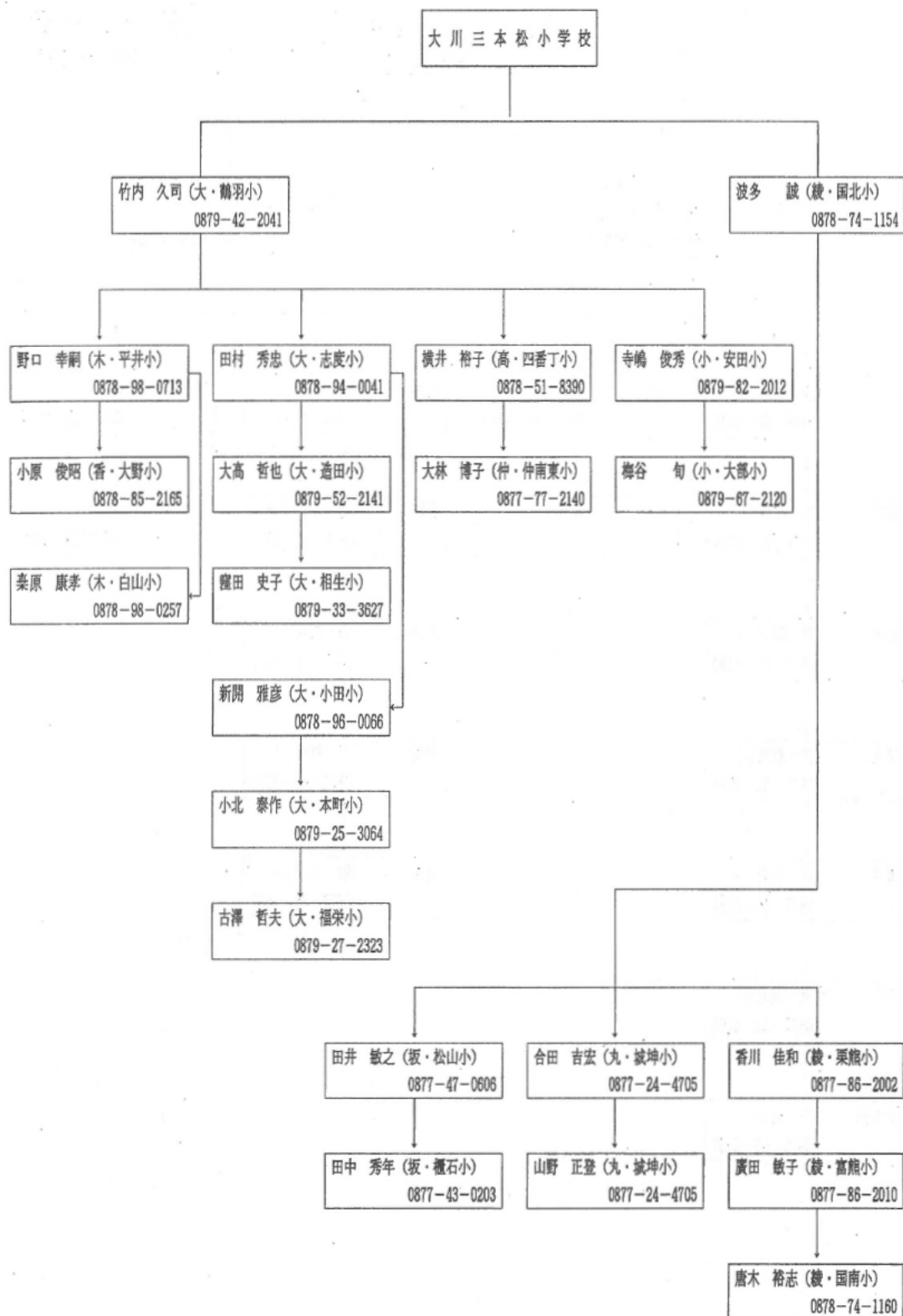


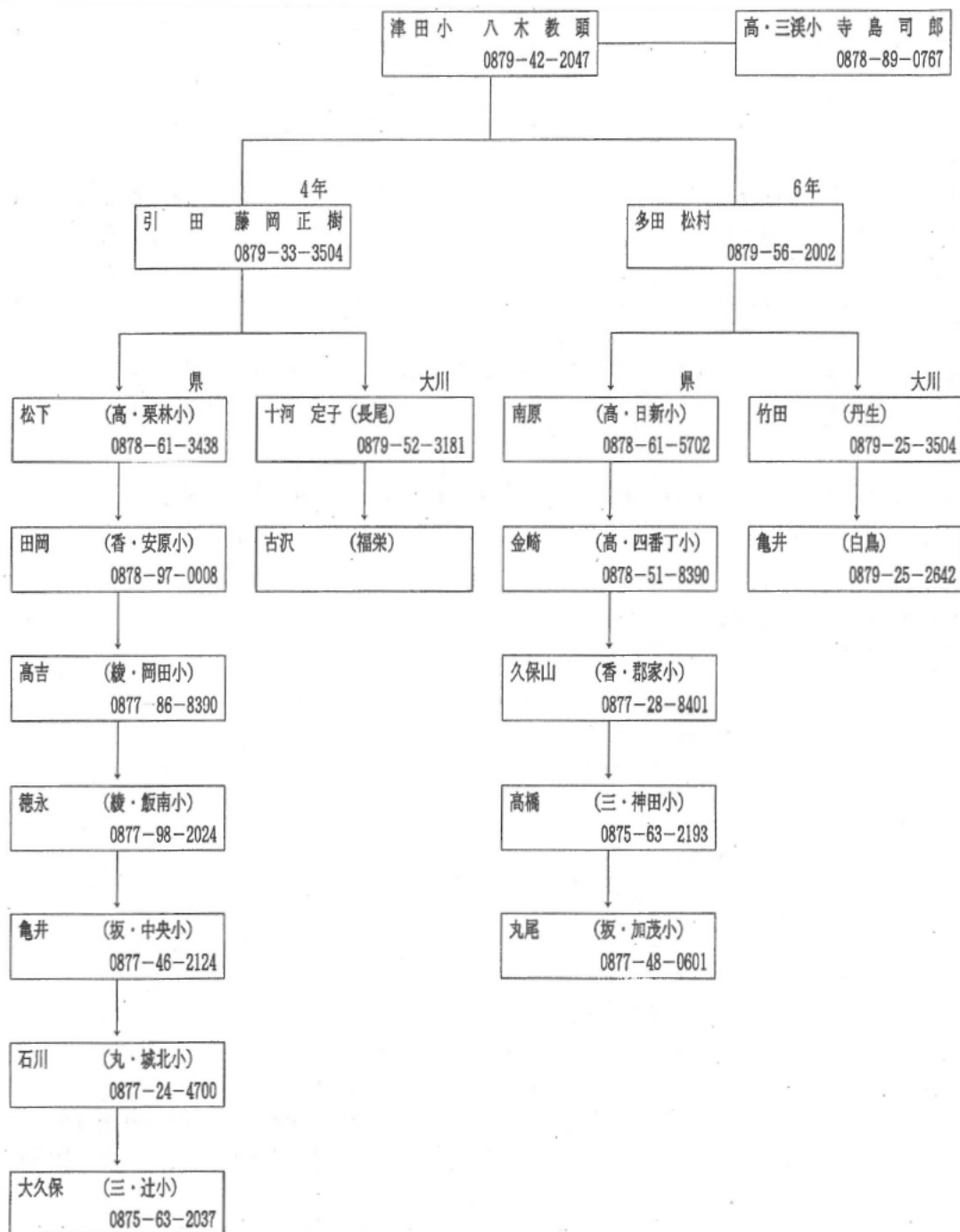
4年 課題別分科会連絡網



5年 課題別分科会連絡網







【高松市】

	学 校 名	氏 名	担当学年
定例会	推進委員代表者	① 栗 林 小	松 下 繁 美 5 年
		② 日 新 小	南 原 志 伸 5 年
		① "	日 下 哲 也 4 年
		② 築 地 小	岡 本 英 孝 5 年
研究部	推進委員代表者	① 四 番 丁 小	横 井 裕 子 3 年
		② "	亀 井 伸 治 3 年
		① 花 園 小	喜 多 文 彦 3 年
		② 男 木 小	溝 内 哲 也 1 年
女子部	推進委員代表者	① 香 西 小	黒 川 紀 子 4 年
		② 亀 阜 小	大 橋 けい子 4 年
		① 一 宮 小	日 下 浩 子 4 年
		② 亀 阜 小	松 川 幸 代 6 年
資料部	推進委員代表者	① 仏 生 山 小	山 下 晃 5 年
		② 三 溪 小	陶 山 真 司 2 年
		① 円 座 小	井 上 泉 5 年
		② 木 太 北 部 小	姫 田 朋 樹 6 年

【丸亀市】

	学 校 名		氏 名		担 当 学 年
定 例 会	推 進 委 員 代 表 者	① 郡 家 小	久 保 山	学	5 年
		② 城 北 小	石 川 裕 之	5 年	
	推 進 委 員 代 表 者	① 城 乾 小	大 西 直 人	6 年	
		② "	池 内 右 典	4 年	
研 究 部	推 進 委 員 代 表 者	① 城 坤 小	山 野 正 登	6 年	
		② 城 西 小	三 宅 弘 信	5 年	
	推 進 委 員 代 表 者	① 郡 家 小	藤 六 健	5 年	
		② 城 東 小	樋 口 昌 樹	6 年	
女 子 部	推 進 委 員 代 表 者	① 城 坤 小	香 川 久 子	5 年	
		② 城 南 小	大 喜 多 峯 子	2 年	
	推 進 委 員 代 表 者	① 城 東 小	香 川 浩 子	2 年	
		② 郡 家 小	高 木 京 子	6 年	
資 料 部	推 進 委 員 代 表 者	① 城 坤 小	合 田 吉 宏	6 年	
		② 垂 水 小	橋 本 康 裕	5 年	
	推 進 委 員 代 表 者	① 城 坤 小	北 分 英 樹	5 年	
		② 城 東 小	増 井 泰 弘	6 年	

【坂 出 市】

	学 校 名	氏 名	担 当 学 年
定 例 会	推進委員代表者	① 中 央 小 亀 井 彰	5 年
		② 東 部 小 川 中 祥 照	6 年
	推進委員代表者	① 松 山 小 田 井 敏 之	6 年
		②	年
研 究 部	推進委員代表者	① 中 央 小 大 西 浩 史	5 年
		② 櫃 石 小 田 中 秀 年	6 年
	推進委員代表者	① 林 田 小 吉 田 和 弘	6 年
		②	年
女 子 部	推進委員代表者	① 東 部 小 野 村 亮 子	4 年
		② 加 茂 小 藤 本 洋 子	4 年
	推進委員代表者	① 林 田 小 管 小 百 合	1 年
		② 松 山 小 谷 本 量 子	2 年
資 料 部	推進委員代表者	① 東 部 小 福 家 寿 夫	4 年
		② 中 央 小 大 西 浩 史	5 年
	推進委員代表者	①	年
		②	年

【小 豆 郡】

	学 校 名	氏 名	担 当 学 年
定 例 会	推進委員代表者	① 安 田 小 寺 嶋 俊 秀	6 年
		② 土 庄 小 役 重 和 雅	4 年
	推進委員代表者	①	年
		②	年
研 究 部	推進委員代表者	① 北 浦 小 金 井 宏 諾	2 年
		②	年
	推進委員代表者	①	年
		②	年
女 子 部	推進委員代表者	① 池 田 小 竹 上 聖 子	4 年
		② 土 庄 小 村 川 絹 子	4 年
	推進委員代表者	①	年
		②	年
資 料 部	推進委員代表者	① 大 部 小 梅 谷 旬	6 年
		②	年
	推進委員代表者	①	年
		②	年

【大川郡】

	学 校 名	氏 名	担 当 学 年
定例会	① 本 町 小	佐 藤 正 文	5 年
		六 車 功	3 年
	② 相 生 小	高 田 宏 隆	同和主事
		竹 内 久 司	6 年
研究部	① 多 和 小	三 井 重 彰	3 年
		村 上 勝	5 年
	② 志 度 小	田 村 秀 忠	6 年
		大 高 哲 也	6 年
女子部	① 引 田 小	向 山 智 恵子	5 年
		窪 田 史 子	6 年
	② 造 田 小	小 山 久 美	3 年
		上 村 京 子	4 年
資料部	① 丹 生 小	竹 田 具 治	同和主事
		桑 島 博 人	3 年
	② 福 栄 小	古 澤 哲 夫	6 年
		白 澤 一 修	4 年

【木田郡】

	学 校 名	氏 名	担 当 学 年
定例会	① 牟 礼 小	檜 原 一 宏	5 年
		長 野 俊 秋	5 年
	② 白 山 小	伊 藤 良 春	3 年
		六 車 健	4 年
研究部	① 田 中 小	森 口 英 樹	3 年
		野 口 幸 嗣	6 年
	② 白 山 小	泉 聡	5 年
			年
女子部	① 牟 礼 北 小	益 田 隆 子	4 年
		三 野 育 洋	3 年
	② 庵 治 小	田 口 美代子	3 年
		松 原 真由美	4 年
資料部	① 白 山 小	栗 原 康 孝	6 年
		柴 原 照 子	4 年
	② 水 上 小	鎌 田 芳 一	6 年
		白 井 ひとみ	3 年

【香川郡】

	学 校 名	氏 名	担 当 学 年
定例会	推進委員代表者推進委員代表者	① 大 野 小 小 原 敏 昭	6 年
		② 川 東 小 長 岡 伸 幸	6 年
	推進委員代表者推進委員代表者	① 大 野 小 平 尾 高 王	障 害 児
		② 香 南 小 前 田 宏 之	6 年
研究部	推進委員代表者推進委員代表者	① 香 南 小 池 田 誠	4 年
		② 安 原 小 田 岡 直 樹	5 年
	推進委員代表者推進委員代表者	① 浅 野 小 長 谷 民 子	6 年
		② 上 西 小 小 西 俊 毅	4 年
女子部	推進委員代表者推進委員代表者	① 香 南 小 中 田 由 起 恵	1 年
		② 大 野 小 川 田 康 代	3 年
	推進委員代表者推進委員代表者	① 浅 野 小 小 坂 真 有 美	1 年
		② 川 東 小 塩 谷 か お る	6 年
資料部	推進委員代表者推進委員代表者	① 直 島 小 橋 本 英 敏	6 年
		② 川 東 小 松 原 伸 二	4 年
	推進委員代表者推進委員代表者	① 直 島 小 千 葉 雅 己	新採担当
		② 浅 野 小 篠 田 美 津 子	2 年

【綾歌郡】

	学 校 名	氏 名	担 当 学 年
定例会	推進委員代表者推進委員代表者	① 富 熊 小 廣 田 敏 子	4 年
		② 岡 田 小 野 村 一 夫	4 年
	推進委員代表者推進委員代表者	① 滝 宮 小 中 西 昇	6 年
		② 国分寺北部小 牧 野 啓 造	6 年
研究部	推進委員代表者推進委員代表者	① 栗 熊 小 香 川 佳 和	6 年
		② 国分寺北部小 波 多 誠	6 年
	推進委員代表者推進委員代表者	① 粉 所 小 末 澤 康 彦	1 年
		② 山 田 小 福 家 光 洋	6 年
女子部	推進委員代表者推進委員代表者	① 宇 多 津 小 神 田 仁 美	1 年
		② 陶 小 竹 下 紀 子	3 年
	推進委員代表者推進委員代表者	① 飯 山 南 小 徳 永 桂 子	5 年
		② 国分寺南部小 三 好 道 代	6 年
資料部	推進委員代表者推進委員代表者	① 国分寺南部小 眞 井 孝 征	3 年
		② 飯 山 北 小 田 中 直 樹	6 年
	推進委員代表者推進委員代表者	① 飯 山 北 小 安 藤 雅 慶	4 年
		② 岡 田 小 高 吉 直 之	5 年

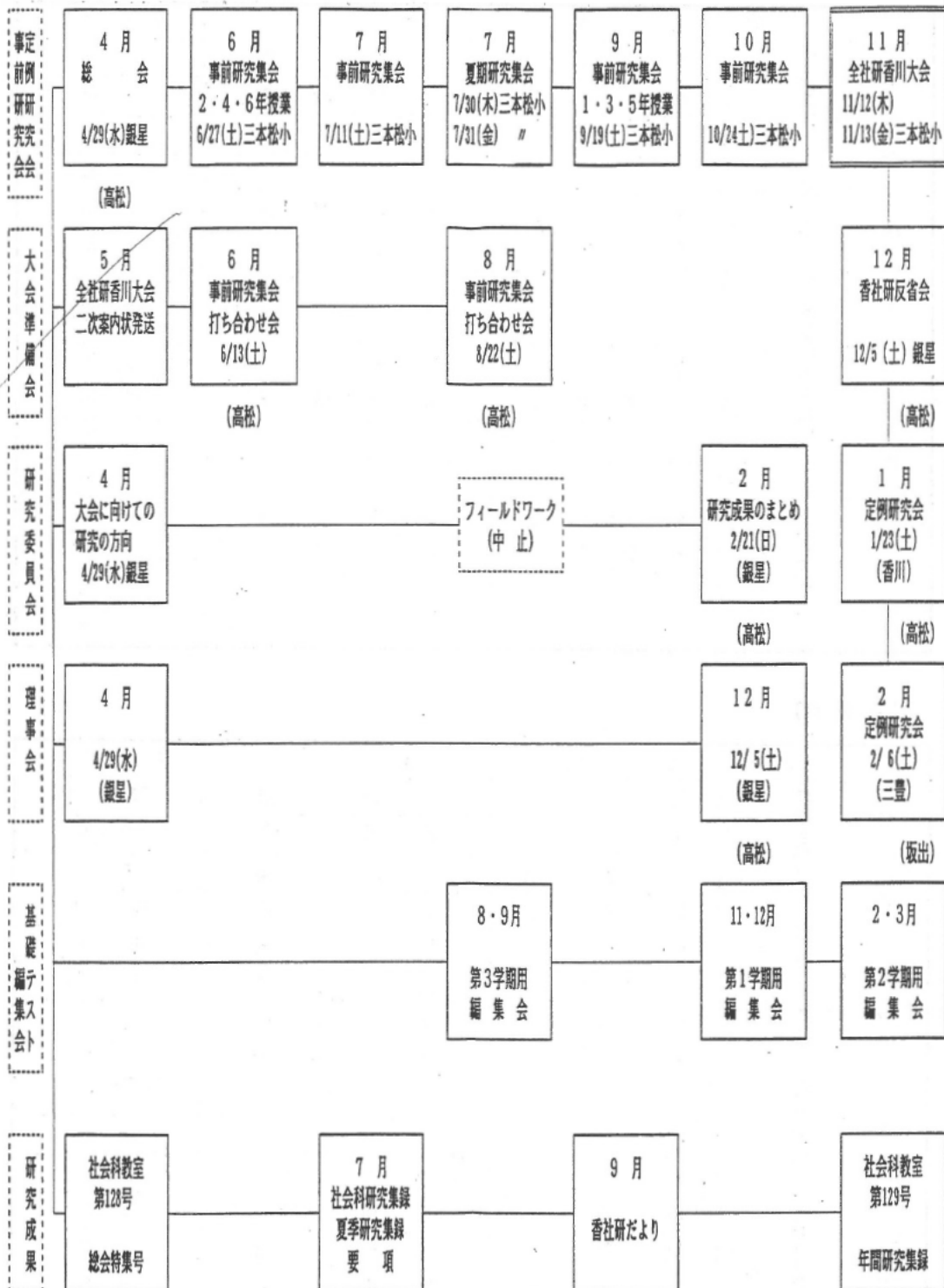
【仲多度・善通寺】

	学 校 名	氏 名	担当学年
定例会	推進委員代表者	① 多 度 津 小 片 井 功	4 年
		② 善 東 部 小 高 橋 義 徳	5 年
	代表者	①	年
		②	年
研究部	推進委員代表者	① 琴 平 小 岩 崎 保 雄	5 年
		② 善 中 央 小 山 田 泰 二	5 年
	代表者	①	年
		②	年
女子部	推進委員代表者	① 善 中 央 小 松 原 千代子	1 年
		② 仲 南 東 小 大 林 博 子	6 年
	代表者	①	年
		②	年
資料部	推進委員代表者	① 象 郷 小 宮 本 正 輝	年
		② 多 度 津 小 森 昭 二	3 年
	代表者	①	年
		②	年

【三 豊 郡】

	学 校 名	氏 名	担当学年
定例会	推進委員代表者	① 辻 小 大 久 保 進	障 害 児
		② 神 田 小 高 橋 克 佳	5 年
	代表者	① 大 野 小 平 川 博	6 年
		② 舘 東 小 原 直 史	障 害 児
研究部	推進委員代表者	① 仁 尾 小 秋 元 一 秀	専 科
		② 上 高 野 小 安 藤 通	専 科
	代表者	① 豊 浜 小 柴 田 英 明	4 年
		② 桑 山 小 宮 武 昭 裕	6 年
女子部	推進委員代表者	①	年
		② 詫 間 小 高 浜 淳 子	4 年
	代表者	① 粟 井 小 小 野 ひとみ	障 害 児
		② 豊 浜 小 宝 田 小 夜 子	6 年
資料部	推進委員代表者	① 詫 間 小 臼 杵 優	4 年
		② 比 地 小 萬 亀 弘 吉	5 年
	代表者	① 河 内 小 安 藤 清 和	5 年
		② 比 地 大 小 福 岡 和 信	5 年

平成4年度の年間計画



平成4年度の研究主題

新しい学力観に立つ社会科学学習

—問いと論証の調べ学習の展開—

研究部長 池田孝徳

「調べ学習」とは、子供の一人立ちを願い、発達課題を踏まえ、学習意欲を重視し、「調べ方法」と「表現方法」の組み合わせにより、社会を見ていく学び方の確立を図る学習である。

— 学び方の確立を図る調べ学習の成立要因 —

- ① 子供の発達課題を踏まえた、学び方の発達課題による学習である。
- ② 調べ方法の類型とそれに基づいて表現方法を組み合わせた思考力を育てる学習である。
基本を大切に、個性を生かす学習となるよう「問い」と「論証」の過程を重視する学習である。
- ③ 学ぶ意欲を基に真の学習の問題となるよう、「調べ問題」から「学習問題」へと深化する単元化を図った学習である。
- ④ 教師は、個に応じた援助活動を中心に、子供は、自己の伸びを自己評価しつつ、目標値に近づくという形成的評価を生かす学習である。

1 「調べ学習」の特色

「調べ学習」が成立するためには、いくつかの要因がある。

一つは、「単元構成」である。子供の学習意欲を柱にして、体験と表現を重視した単元化の特色である。二つには、学習意欲を柱にして、「問い」と「論証」の過程での学び方を育てる特色である。子供の学習意欲は、社会事象に働きかける「問い」を持つことから始まる。そして、体験と表現の活動を通して、「問い」を深め、広げて、価値ある「問い」に高めていく。こうして、社会を正しく見たり、考えたりして、自分の論をつくり明らかにするという、「論証」ができていく。

〔特色1〕「単元構成」について

① 単元構成の軸は「調べ問題」におく。

五年生の単元「米・野菜づくりに取り組む人々」を例にして述べよう。単元化するにあたり、工夫したことは、表1で分かるように、基礎・基本を内容と学ぶ力の二つの面から考え、単元構成に表したことである。(○は内容の基礎・基本、◎は学び方の基礎・基本)

また、体験から表現へ、表現を詳しくしたり修正したりするというように、表現活動が次々に連続し、深まりを持っていることである。子供は、学習にめあてを持っているから学習意欲を高めながら学習を進めていくことができる。そこで、「問い」が生かされ、幾通りもの答えや表現のできる「調べ問題」によって、学習を進めていくことを考えた。「調べ問題」には、次のような特徴がある。

ア 単元の学習全体を通して、個々の子供がめあてを持って学んでいく。

イ 「～の秘密を調べて、～に表現しよう」というように調べる観点と表現の手法を含めたものである。

ウ 一人一人子供の持った「問い」が追求でき、個に応ずることができる。

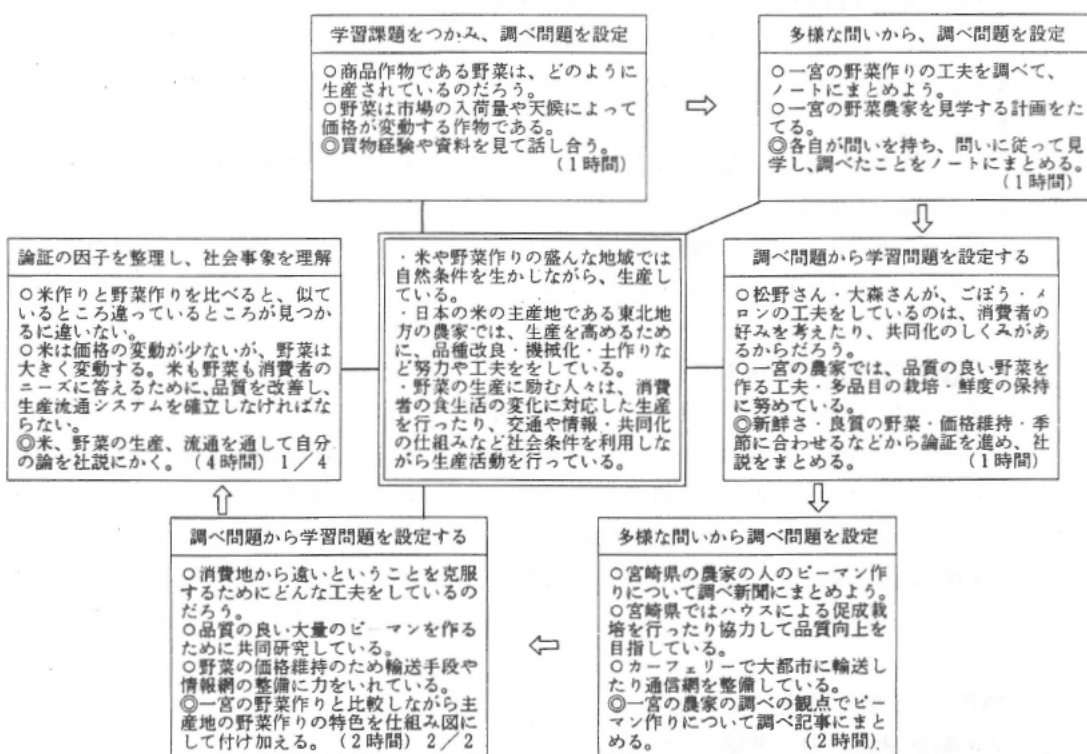
② 単元構成は、教えることと学ぶことを明確にする。

第1次は、子供達が単元全体を見通した学習計画を立て表現方法を決める。

第2次から第3次は体験（実物調べ・資料調べ）により表現する。

第4次は、調べて表現した絵図などを教材にして交流し考えを深める。

第5次は、情報不足の面を教師が補足して表現を充実する。第6次は調べたことを発展させ表現を完成する。



このように学ぶ力を育てる過程の中で、最も留意しなければならないことは、第5次にある教師の情報提供である。子供の情報が不足し、調べることが高まらないことが予測される場合である。その時は、情報を提供し、教えることも重視する必要がある。何が何でも「自分で調べる」のでは

なく、子供の手に負えない場合は、教師が情報を提供し、解説する授業も必要なのである。論証していくためには、そのなりの知識が要求される。このことを忘れた「調べ学習」は存在しないのである。教える場面と育てる場面を教師が十分把握していないと子供の意欲を育てる体験・表現の活動を重視した「調べ学習」は成立しないのである。

〔特色2〕「問いと論証の過程での学び方」

「調べ学習」では、大量のしかも多様な「問い」を生み出すことが肝要である。

学習は、「おかしいな」「どうしてかな」という素朴な疑問から始まる。例えば、『経済連』を調べている時、ファクシミリに対する疑問を調べている時、ファクシミリを見ても、何の疑問も持てない子供と「どうしてこんなところに」と感じる子供では、その後の学習意欲は大きく違ってくる。ファクシミリに対する疑問を調べていくと「野菜作りが盛んになった秘密は、きっと連絡方法に工夫があったからかな。」と次々に内容に迫っていけるような「問い」が生み出されていき、学習意欲は、ますます高まる。このような「問い」の連続と質的な高まりが、「調べ学習」を支えていく。

① 「問い」を生み出す過程を重視する。

「問い」を生み出すために、どんな点を工夫すればよいのか。二つあげておこう。

ア 実物調べを多く取り入れる。

特に中学年の段階では、実際に見学に行ったり、実物に触れたりした時の驚きからたくさんの疑問が生み出されてくると考える。五年生の産業学習でも、まず地域にある素材を十分に調べることを大切にしている。そうした積み上げの上に、実物調べというように、直接体験できない社会事象について、図書・統計・視聴覚資料などによる調べが可能になり、六年生での歴史学習などの内容についても構想することができるレディネスができあがってくると考えられるのである。

イ 教材は子供の表現の中にある。

調べ学習では、表現は学習内容との関わりによって深まっていくと考えられる。「日本の農業」の授業でも子供の収集した米・野菜作りの資料のまとめから調べ問題ができ、子供の作った農業新聞が詳しくなることが、「日本の農業」の内容に迫ることになる。子供の表現は、子供の反応としてとらえられ、その中から、新たな「問い」が出て、次の学習を深めていく。つまり、教材は、教師がある日突然提示するものではなく、子供の表現が教材となるのである。

② 教師は、個に応じた援助に徹する。

調べ学習が教え方の学習ではなく、学び方の学習である以上、教師の役割は格別の意味を持つてくる。調べ学習では、教師は『援助者』であることを鉄則にしている。

援助者としての教師の働きには、二つある。

ア 学習の流れの中で行う援助

指導案の上でも、従来、指導上の留意点を記入していた欄には、援助活動を書く。また、座席表によったコンピュータを利用したりする個に対応する援助も書く。

イ 教師の出番として、情報を提供する援助

子供の思考を飛躍させ、「論証」を確実なものにしていく教師の援助活動である。「日本の農業」の授業の中で言えば、第5次の経済連・農協・東京事務所の調べを関係づけ、輸送・通信の仕組みがよく分かるよう、交流をする場面である。このように、「比較する」「総合する」という学び方を援助したり、観点変更の手助けをしたりして、子供の思考を深めたり、飛躍させたりする援助と、知識、情報が少なく十分な分かり方や「論証」ができない場合の援助がある。

③ 子供の調整力を育てる。

子供は互いに認め合い、自分の伸びを自己評価しつつ成長していく。それは、子供相互の人間関係を育てる中で、調整力として育っていく。子供が模型や新聞を作る作業をしようとする時、必ず話し合いがあり、役割の分担がある。

6	5	4	3	2	1	学年
自 発 性		活 動 性		自 立 性		発達課題
自発的活動の中で自発的活動をうながす。		(一人調べ) 自発性を生かした一人調べを通して、過剰を自己修正し、矛盾克服のために自他の関係の中で自発的活動をうながす。		(グループ調べ) グループ内での自他の考えを調整する中で、活動の内面化を図り、自他の人間関係の中で自分の態度を反省する。		発達課題 社会科(調べ学習)における課題

表2 「学び方の発達課題」

そこで子供達はいつも自分の

好む分担ばかり行っていたのでは作業がうまくいかないことを経験したり、いつもは気づかなかった友達の良さに気づいたりできる。このような経験が子供の人間形成の上で重要だと考えた。(表2)

2 学習意欲と「問い」と「論証」

1 「問いを深める」

学習は、「問い」を持つことに始まることを述べたが、一言に、「問い」と言っても直感的に浮かぶ疑問からかなり調べて論理的に裏付けられた「問い」まで様々な段階がある。また、中には、聞いたり、見たり、本を読めばすぐに解決できる「問い」を持った段階で止まっている子供も見られる。これらの「問い」を初めから意味のないものとか、価値の低いものと切り捨ててしまえば、授業は確かに整然と行われるであろうが、子供の意欲は決して高まっていくものではない。調べ学習では、一人一人の「問い」が深まっていくよう次の点に配慮している。

- ① グループや一人で「調べる」時間の中で、自分の「問い」を解決したり、新たな「問い」を持ったりできる。
- ② 自分の「問い」をカードに書き、グループや学級で類別したり、総合したりする場を設ける。
- ③ 高学年になると、調べがかなり進んだ段階で「きょうこうなっているのだろう」「これと関係があるはずだ」などと自分なりの見通しを持ち、深まった「問い」になる。これを「学習問題」と考えている。即ち、調べ問題の中に「学習問題」が位置づいてくるのである。

2 自分なりの「問い」を「論証」する過程で、学習の個性化を図る。

「問い」と「論証」の過程は表3のようであるが、「学習問題」と「論証」の過程について、五年生の授業を例にして述べる。

「成長する通信販売」

第1次 セシールのカatalogや三・四年のノートに基づいて、「問い」をつくる計画を立てる。

(学習課題) 『通信販売業』について調べよう。

第2次 問いをグループで交流・整理しながら解決の方法を話し合い、調べ問題をつくる。

(調べ問題) 『通信販売業』の伸びの秘密を友達と交流しながら明らかにし、ノートにまとめよう。

第3次 グループごとに情報の交流をし、自分なりの解決方法をノートに書く。

第4次 個々の目標値に従って、調べたことをグループで構成し、通信販売の伸びの秘密を明らかにする。

(学習問題) 産直通販の伸びの秘密をめあてに従って、より明らかにしよう。

第5次 通信販売業の伸びの秘密をグループごとに発表する。

第6次 これまでの調べで分かったことをノートにまとめる。

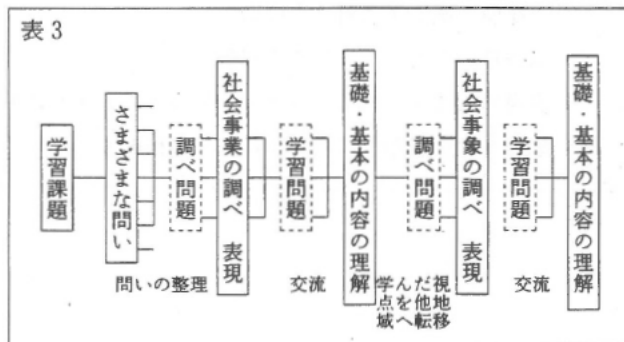
第7次 通信販売業の伸びの秘密を文章にまとめ、発表会をもつ。

① 認識の系列の重視

本単元で取り上げる通信販売業で学ぶべき基礎的・基本的内容が認識の系列でどのような基盤の上に成り立つものかを明確にするために、第2次で三・四年生時のノートをもとにしながら通信販売業に対する問いを作った。

認識の系列の上で基盤となる内容を明らかにすることによって、どの子にも追求する価値のある、他と交流できうる問いがもてるのである。また、学習を進める原動力となる問いを分析することで、認識を深めるためにどのような交流や援助を行っていくことがよいのかを明らかにすることができるのである。

表3



② 個の学びと一斉学習との関わり

これまででは、一つの事例を共通に学習し、基礎的・基本的内容をつかみ、その後、個・グループに他の事例を選択させ、一斉学習で学んだ内容を適応し、学び方の定着を図ってきた。また、個の学びで多様な見方や考え方を生み出し、一斉学習でまとめる展開も多い。

本単元では、個の追求過程を保障するということから、一斉学習の位置づけを変え、セシールを共通の事例としながらも、まずは、問いの作り方を学ぶにとどめる。次に、自分の調べたい通信販売について、一人一人が問いを持ち、目標値を定めながら解決を図り、その子なりに基礎的内容をつかんでいくのである。こうした個の学び方でつかみきれなかった基礎的内容を第5次の他のグループとの交流や第6次の問いの解決といった一斉学習の場で補う。即ち、一斉学習の場でもつかむ内容が異なってくるのである。

③ 自己評価しつつ、目標値を高めて学ぶ

個の追求過程を保証するとか、一人一人の問いが生かされるとか言っても、自らの調べを高めていこうとする姿勢がなければ、それは、深まりのないものになってしまう。どうしても、自他の関係の中で、自らの調べを高めていこうとする学び方を育てる必要がある。それが、自己評価と目標値という表裏一体の学び方である。

第4次に自分の選んだ通信販売業の伸びの秘密を論証するという活動がある。第1時で「北海道から鮭を贈るとなると腐ってしまうこともあるのではないか」という問いを自分なりに解決し、「宅配便で送るから」と書き、グループ内で公開する。他人の調べを見たり、友達と対話をしたりしながら、「なぜ宅配便だと腐らないままに着くかという理由づけができていないな」と自らの調べを反省的に見つめる。そして、第2時では、「宅配便の仕組みを入れよう」と目標値を定めつつ、論を深めていくのである。ここに、自らの伸びを自己評価しつつ、目標値を高めて学ぶことによって、真の意味での個が生きる学習が成立するのである。

④ 教師の援助活動

個が生きることが本単元の主張である以上、教師の姿勢も当然その子なりの見方や考え方を大切にしながら、学ぶ力を育成する援助者になりきらねばならない。本単位では、次の4つを教師の役割と考え、通信販売業の伸びの秘密を明らかにしていく子供の学びを援助した。

- ア 目標値の低い子に対する援助
- イ 情報量の少ない子に対する援助
- ウ 表現の方法を工夫しようとしている子に対する援助
- エ 論理づけを目指している子に対する援助

基本とする授業の3類型

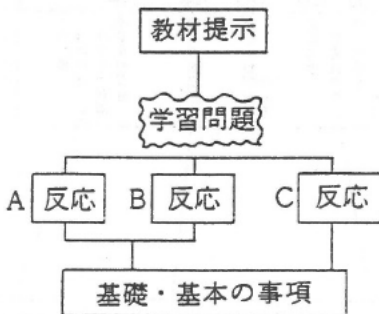
新しい学力観に立つ教育は、毎時間、教師が指示した資料によって学習が進められるのではなく、子どもの反応を教材化することで学習を構成していくことが重要である。子どもの学習意欲を重視し、追求意欲や追求過程を大事にした学び方を学ぶ学習を組織しなければならない。また、子どもの学ぶ力の育成は、個に応じる学習として組織されなければならないのである。

個に応じる学習を「指導の個別化」と「学習の個性化」として組織するが、これを個人差のとりえ方でみると、「学習意欲」は、両者の学習の基盤であり、学習速度差と達成度としての学力差は、主として「指導の個別化」であり、個人差は、主として「学習の個性化」である。以下、どちらの視点から学習を構成していくかによって次の三つの学習のタイプに分かれるのである。

① 教材反応学習

学習過程の中で子どものつまずきを解消して基礎・基本の徹底を図る学習（個別化）

教材反応学習構造図



この教材反応学習は、個別化傾向の強い学習として位置付くものである。

この学習の特質は、一定の基礎に就いて、フィードバックしながら、全員を同じレベルに到達させようとする学習である。すなわち、そのための学習の方法論として、位置付くものであ

る。

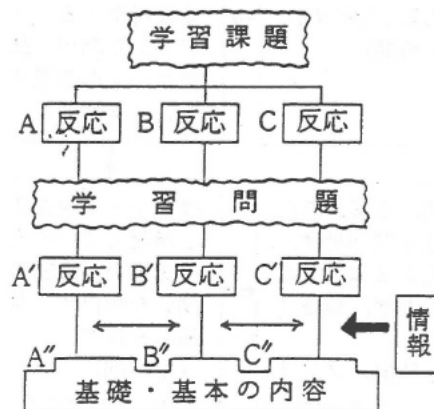
代表的なものが九九や漢字の学習である。社会科の場合では、教師が教材を提示することによって地図記号やグラフの書き方など、技能的なものを身に付けていく場合に有効な学習スタイルである。すなわち、地図指導や資料の読み取りを通して、基礎・基本の事項、用語の徹底を図っていくのである。

この学習は、個別化傾向の強い学習ということから、例えば、A、Bの児童については、教師の個別の教材提示により練習が可能となる子どもとして位置付くのである。一方、Cの児童に対しては、教師の個別指導により、特に目を付けて指導をする必要が生まれてくる。

② 反応類型学習

子どもから表出された主たる反応を交流したり、不足している反応を補って、基礎・基本を捉える学習（個別化・個性化）

反応類型学習の構造図



この反応類型学習は、個別化と個性化の両者が学習過程の中に同居しているものとして位置付くものである。

この学習は、子どもの調べる意欲を基盤に学習課題を作る。そして、学習課題に対する様々な子どもの反応を二つから三つに類型化し、その中から自分の興味・関心、特性に応じて選択

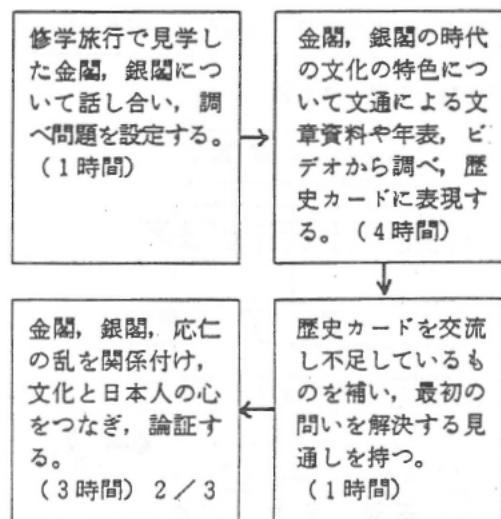
し、問題解決のための学習を進める。すなわち、子どもの一次反応を生かして、学習問題を作るのである。さらに、一次反応を基にした二次反応が基礎・基本の内容となるのである。

⑦ 基礎・基本を大切に、個性を生かす単元の展開

6年社会科「金閣と銀閣」を例に見ていくこととする。

歴史学習では、具体的に見学ができない場合が多く、言語による論証が中心となる。基礎・基本の事項や用語をつないで自分なりの論を組み立てていくことが求められる。ここでは、変化の意識、因果の意識を持つ中で歴史的事象を関係付けてとらえることが大切である。すなわち、問う力とともに論証の因子を操作しながら論を組み立てていくのである。

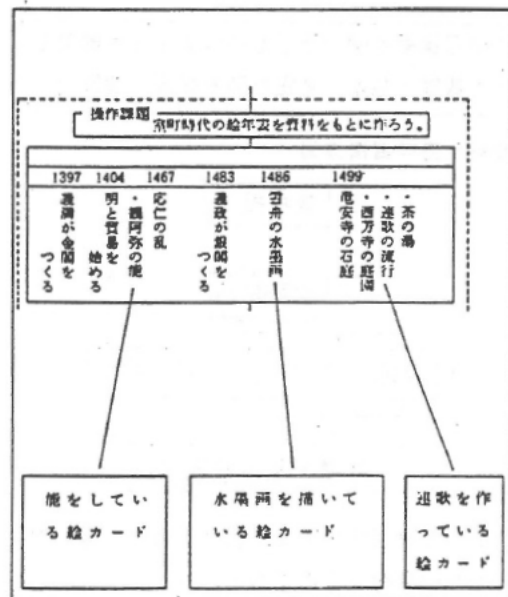
単元構想のあらまし (全9時間)



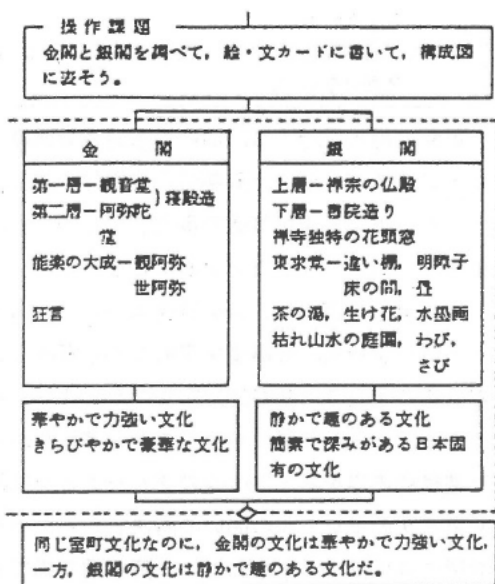
単元の展開は図に示した通りである。子どもの体験を基盤に学習課題を作成し、歴史的事象の調べと表現活動を繰り返す過程で自分なりの見通しを持ち、自分の論を確立していくのである。

本単元の展開は、実際に金閣と銀閣を見学して、その外観の違いを見て、生まれた素朴な問

いから学習が始まる。子どもたちの広くて浅い多様な問いを整理していくと、「明るく美しい金閣から静かで落ち着いた銀閣に変わったのはどうしてだろう。」といったかなり質の高い問いが生まれてきたのである。そして、「金閣と銀閣について調べればその秘密が分かるのではないだろうか。」というA君の見通しのある問いをきっかけとして学習は進んでいったのである。さらに、「金閣と銀閣だけを調べたのでは、変わった理由がわからないよ。」ということでも当時の文化、出来事についても調べていくことになったのである。このような学習過程を土台に本時の学習課題として、「京都の室町に幕府が置かれた頃の出来事を金閣、銀閣を中心に調べよう」が生まれてきたのである。出来事と関係付けていくということで自分たちの調べた様々な文化を絵カードに表現し、絵年表を作成していくのである。



4次の2/3は、金閣に代表される文化と銀閣に代表される文化をカード操作や相互交流をもとに比べ、室町文化の特色を捉える学習である。



(イ) 一次反応としての基礎・基本の事項を捉える。

金閣の時代を調べた子どもたちは、連歌、狂言、能等を絵カードに表現し、その文化の特色を文章で表し、説明をしている。

連歌では「地方の武士や僧、民衆の間に広く流行するようになりました。連歌の明るい笑いが人々に喜ばれました。」と文章で説明している。これが子どもの一次反応として表出されたものであり、基礎・基本の事項として、子どもたちが捉えているのである。(反応A、B)
このような一次反応をもとに子どもたちは、「金閣の文化は華やかで力強い文化」「銀閣の文化は、簡単で深みがある日本固有の文化」として捉えていくのである。こういった基礎・基本の事項として捉えたことをさらに基礎・基本の内容として発展させていくために教師は、子どもの力では捜せない情報を提供しなければならぬ。本実践においては、教師の情報提供の内容として、「畳、障子を事例に文化と日本人の心」についてビデオ、写真等で情報を投入し

たのである。

(ウ) 基礎・基本の事項から基礎・基本の内容へ

教師の情報の提供によって子どもの一次反応は、論として膨らみ基礎・基本の内容へと発展する。K子は、金閣、銀閣の文化の構成図を見ながら「私たちの生活の中には、金閣の時代の文化、銀閣の時代の文化が多く残っているようです。室町時代の文化や芸術は、華やかで力強い文化と簡素で深みのある文化に分けられます。先人が残した日本の文化を大切にし、引き継いでいくことが私たちの役割かと思っています。」と書いている。

このように、反応類型学習の特質は、子どもの一次反応から始まり、その反応が最後まで生き続け、基礎・基本の事項さらには、基礎・基本の内容へと発展し、子どもなりの論が膨らんでいくところに特質がある。

③ 課題選択学習

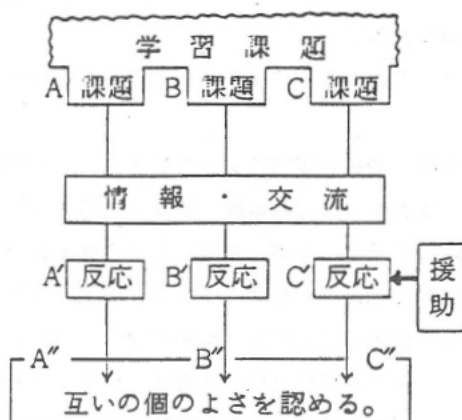
一人一人が自分の課題を選択し、課題の持つ意味や学習に対する見通しをしっかりと持って、自分の特性や能力をどのように発揮していったかが重要とされる学習
(個性化)

(ウ) 学習の個性化を進める授業とは

この学習の特質は、子ども一人一人の問いや特性がグループや全体にかき消されることなく生きていく。すなわち、個の追求の過程が最後まで保障されるのである。さらに調べる事例も学習の順序も個によって異なり、基礎・基本となる内容を捉える過程が異なりつつも単元を通して見た場合どの子も基礎的・基本的内容を実に捉えることができるのである。

こうした個が生きる学習(学習の個性化)を実現するための配慮点について見ていくこととする。

課題選択学習構造図



(イ) 個の学びと一斉学習とのかかわり

従来、個の学びと一斉学習とのかかわりについては、次のような考え方が大勢を占めていた。一つの事例を共通に学習し、基礎的・基本的内容をつかむ。その後、個、グループに他の事例を選択させ一斉学習で学んだ内容を適応し学び方の定着をねらってきた。また、個の学びで多様な見方や考え方をさせ、一斉学習でまとめるという展開も多くあった。いずれも極端に言えば、一斉学習を補うために個の学びを取り入れるという考え方である。

5年社会科「成長する通信販売業」を事例に見ていくこととする。

自分たちの調べた通信販売業（宅配便、郵便局ふるさと小包便、生活総合カタログ販売、生協）の伸びの秘密を輸送手段の発達、通信網の整備、人々の考えの変化などの視点から明らかにしていくのである。

- 第1次 セシールのカタログや三・四年のノートに基づいて、「問い」をつくる計画を立てる。
- 第2次 問いをグループで交流・整理しながら解決の方法を話し合い、調べ問題をつくる。
- 第3次 グループごとに情報の交流をし、自分なりの解決方法をノートに書く。
- 第4次 個々の目標値に従って、調べたことをグループで構成し、通信販売の伸びの秘密を明らかにする。

第5次 通信販売業の伸びの秘密をグループごとに発表する。

第6次 これまでの調べで分かったことをノートにまとめる。

第7次 通信販売業の伸びの秘密を文章にまとめ、発表会をもつ。

単元の導入段階では、個の追求過程を保障するということから、一斉学習の位置付けを変えている。セシールを共通の事例としながらも、まずは、問いの作り方を学ぶにとどめる。

次に自分の調べたい通信販売について一人一人が問いを持ち、目標値を定めながら解決を図る。その子なりに基礎的内容をつかんでいくのである。こうした個の学びでつかみきれなかった基礎的内容を第5次の他のグループとの交流や第6次のセシールの問いの解決といった一斉学習の場で補う。すなわち、一斉学習の場でも個によってつかむ内容が異なってくるのである。

(ウ) 自己評価しつつ、目標値を高める

個の追求過程を保障するとか、一人一人の問いが生かされるとか言っても自らの表現を高めていこうとする姿勢がなければひとりよがりや深さのないものになってしまう。自他の関係の中で自らの表現を高めていこうとする学び方を育てる必要がある。第4次に通信販売の伸びの秘密を論証する活動がある。第1次で「北海道から鮭を送ると腐ってしまうこともあるのではないか。」という問いを自分なりに解決し、「宅配便で送るから」と書き、グループの絵図を公開する。他者の調べを見たり、友達と対話をする中で「なぜ、腐らない間に着くかという理由づけがないな」と自らの調べを反省的に見つめるのである。そして、第2次では、「宅配便の仕組みを入れよう」と目標値を定めつつ、論を深めていくのである。このように自らの調べを自己評価しつつ、目標値を高めて学ぶことによって個が生きる課題選択の学習が成立するのである。

平成4年度 郡市社研役員名簿

【高松社研】

役員名	氏 名	職名	勤務校	学 校 住 所	電 話
会 長	寺 島 司 郎	校長	三 溪 小	高・三谷町2173番地1	0878-89-0767
副会長	橋 本 正 範	"	亀 阜 小	高・亀岡町10番1号	0878-61-2013
	岡 田 弘 治	"	川 添 小	高・東山崎町207番地の1	0878-47-6055
	池 上 宏	"	下笠居小	高・生島町345番地	0878-81-3011
庶 務	徳 田 仁 司	教諭	一 宮 小	高・一宮町672番地の1	0878-85-1764
	森 正 彦	"	川 添 小	高・東山崎町207番地の1	0878-47-6055
	上 井 嘉	"	太 田 小	高・伏石町845番地1	0878-65-4433
会 計	松 下 繁 美	"	栗 林 小	高・栗林町2丁目10番7号	0878-61-3438
研究部	横 井 裕 子	教諭	四番丁小	高・番町1丁目5番1号	0878-51-8390
	亀 井 伸 司	"	"	"	0878-51-8390
	喜 多 文 彦	"	花 園 小	高・花園町2丁目7番7号	0878-31-9129

【丸亀社研】

役員名	氏 名	職名	勤務校	学 校 住 所	電 話
会 長	大 西 省 三	校長	郡 家 小	丸・郡家町790-1	0877-28-8401
副会長	宮 武 順 一	教頭	城 西 小	丸・六番丁12	0877-22-9267
庶 務	藤 六 健	教諭	郡 家 小	丸・郡家町790-1	0877-28-8401
会 計	高 木 京 子	教諭	郡 家 小	丸・郡家町790-1	0877-28-8401
研究部	山 野 正 登	教諭	城 坤 小	丸・今津町348	0877-24-4705
	三 宅 弘 信	"	城 西 小	丸・六番丁12	0877-22-9267
	藤 六 健	"	郡 家 小	丸・郡家町790-1	0877-28-8401
	樋 口 昌 樹	"	城 東 小	丸・土器町93	0877-24-4703

【坂出社研】

役員名	氏 名	職名	勤務校	学 校 住 所	電 話
会 長	河 津 學	校長	林 田 小	坂・林田町2191	0877-47-0270
副会長	久 米 千鶴子	"	松 山 小	坂・高屋町1050	0877-47-0606
	山 下 緑	"	瀬 居 小	坂・瀬居町1490	0877-46-9194
	曾 根 照 正	"	西 部 小	坂・白金町1-3-7	0877-46-2149
庶 務	川 中 祥 照	教諭	東 部 小	坂・室町1-1-21	0877-46-0234
	田 井 敏 之	"	松 山 小	坂・高屋町1050	0877-47-0606
会 計	野 村 亮 子	教諭	東 部 小	坂・室町1-1-21	0877-46-0234
研究部	大 西 浩 史	教諭	中 央 小	坂・寿町3-1-2	0877-46-2124
	田 中 秀 年	"	櫃 石 小	坂・櫃石585-17	0877-43-0203
	吉 田 和 弘	"	林 田 小	坂・林田町2191	0877-47-0270

【小豆社研】

役員名	氏 名	職名	勤務校	学 校 住 所	電 話
会 長	川 井 千代子	校長	蒲 生 小	小・池田町大字蒲生甲1805-1	0879-75-0007
副会長	廣 田 秀 雄	教頭	安 田 小	小・内海町安田甲472	0879-82-2012
庶 務	羽 座 則 史	教諭	土 庄 小	小・土庄町甲657-7	0879-62-0068
会 計	役 重 和 雅	教諭	土 庄 小	小・土庄町甲657-7	0879-62-0068
研究部	金 井 宏 諾	教諭	北 浦 小	小・土庄町見目甲1587	0879-65-2021
	役 重 和 雅	"	土 庄 小	小・土庄町甲657-7	0879-62-0068
	寺 嶋 俊 秀	"	安 田 小	小・内海町安田甲472	0879-82-2012
	梅 谷 旬	"	大 部 小	小・土庄町大部甲1975	0879-67-2120

【大川社研】

役員名	氏 名	職名	勤務校	学 校 住 所	電 話
会 長	安 部 武	校長	三本松小	大・大内町三本松862-1	0879-25-2664
副会長	亀 井 達 男	"	津 田 小	大・津田町津田144	0879-42-2047
	吉 岡 浩 一	"	造 田 小	大・長尾町造田是弘688-1	0879-52-214
庶 務	佐 藤 正 文	教諭	本 町 小	大・白鳥町松原167-1	0879-25-3064
会 計	高 田 宏 隆	教諭	相 生 小	大・引田町南野204	0879-33-3627
研究部	三 井 重 彰	教諭	多 和 小	大・長尾町多和助光東30-1	0879-56-2002
	三 好 憲 昭	"	三本松小	大・大内町三本松862-1	0879-25-2664
	向 山 智恵子	"	引 田 小	大・引田町引田2068	0879-33-2036
	窪 田 史 子	"	相 生 小	大・引田町南野204	0879-33-3627

【木田社研】

役員名	氏 名	職名	勤務校	学 校 住 所	電 話
会 長	北 堀 豊 清	校長	牟 礼 小	木・牟礼町大町1560	0878-45-9239
副会長	高 尾 吉 臣	教頭	牟 礼 小	木・牟礼町牟礼2900-1	0878-45-5742
庶 務	柏 徹 哉	教諭	牟礼南小	木・牟礼町大町1115-1	0878-5-9324
会 計	樫 原 一 宏	教諭	牟 礼 小	木・牟礼町大町1560	0878-45-9239
研究部	森 口 英 樹	教諭	田 中 小	木・三木町田中4620	0878-98-0501

【香川社研】（案）

役員名	氏 名	職名	勤務校	学 校 住 所	電 話
会 長	鎌 野 修	校長	直 島 小	香・直島町1600	0878-92-3007
副会長	久 保 亮 三	教頭	安 原 小	香・塩江町安原下2号1684	0878-97-0008
庶 務	小比賀 隆 之	教諭	浅 野 小	香・香川町浅野3088	0878-89-0215
会 計	小 坂 真有美	教諭	浅 野 小	香・香川町浅野3088	0878-89-0215
研究部	長 谷 民 子	教諭	浅 野 小	香・香川町浅野3088	0878-89-0215
	池 田 誠	"	香 南 小	香・香南町横井1008	0878-79-2269

【綾歌社研】

役員名	氏 名	職名	勤務校	学 校 住 所	電 話
会 長	宮 本 昭 司	校長	宇多津小	綾・宇多津町815	0877-49-1820
副会長	高 島 優	"	山 田 小	綾・綾上町山田上甲1494-1	0878-78-2004
	丸 野 昭 善	"	富 熊 小	綾・綾歌町富熊1227	0877-86-2010
	唐 木 裕 志	教頭	国分寺南部小	綾・国分寺町福家甲3005	0878-74-1160
庶 務	野 村 一 夫	教諭	岡 田 小	綾・綾歌町岡田下217	0877-86-3004
	廣 田 敏 子	"	富 熊 小	綾・綾歌町富熊1227	0877-86-2010
会 計	高 吉 直 之	教諭	岡 田 小	綾・綾歌町岡田下217	0877-86-3004
研究部	波 多 誠	教諭	国分寺北部小	綾・国分寺町新居1880	0878-74-1154
	眞 井 孝 征	"	国分寺南部小	綾・国分寺町福家甲3005	0878-74-1160
	中 西 昇	"	滝 宮 小	綾・綾南町大字滝宮1100	0878-76-1183
	香 川 佳 和	"	栗 熊 小	綾・綾歌町栗熊東323	0877-86-2002

【仲多度・善通寺社研】(案)

役員名	氏 名	職名	勤務校	学 校 住 所	電 話
会 長	篠 原 啓	校長	四 条 小	仲・満濃町四条728	0877-73-5514
副会長	梅 木 正 信	教頭	東 部 小	善・稲木町450-1	0877-62-0703
	水 卜 由 文	"	四 条 小	仲・満濃町四条728	0877-73-5514
庶 務	片 井 功	教諭	多度津小	仲・多度津町3-1-9	0877-33-1616
	石 井 恭 子	"	満 南 小	仲・満濃町吉野74	0877-79-2110
会 計	小笠原 民 子	教諭	白 方 小	仲・多度津町奥白方1142	0877-32-3331
	大 林 博 子	"	仲 東 小	仲・仲南町七箇2529	0877-77-2140
研究部	岩 崎 保 雄	"	琴 平 小	仲・琴平町145-1	0877-73-2831
	高 橋 義 徳	"	東 部 小	善・稲木町450-1	0877-62-0703
	山 田 泰 二	"	中 央 小	善・文京町4-5-1	0877-62-1616
	小 林 規 子	"	多度津小	仲・多度津町3-1-9	0877-33-1616

【三豊社研】(案)

役員名	氏 名	職名	勤務校	学 校 住 所	電 話
会 長	三 崎 澄 久	校長	二ノ宮小	三・高瀬町大字佐股甲1494-3	0875-74-6302
副会長	白 川 安 男	"	観 東 小	観・観音寺町甲670-2	0875-25-2219
	中 田 清	"	高 室 小	観・高屋町1877-1	0875-25-2661
	藤 田 昌 示	"	栗 島 小	三・詫間町大字栗島1506-2	0875-84-7012
庶 務	原 直 美	教諭	観 南 小	観・観音寺町甲1186-2	0875-25-4675
	平 川 博	"	大 野 小	三・山本町大字大野457-1	0875-63-2009
会 計	大 西 久美子	教諭	本 山 小	三・豊中町大字本山甲1893	0875-62-2125
	小 野 ひとみ	"	栗 井 小	観・栗井町1452	0875-27-6229
研究部	平 川 博	"	大 野 小		
	柴 田 英 明	"	豊 浜 小	三・豊浜町和田浜1000	0875-52-2029 52-2151
	宮 武 昭 裕	"	桑 山 小	三・豊中町岡本188-1	0875-62-2103
	小 野 ひとみ	"	栗 井 小		

平成4年度 香社研会員名簿

高松市

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学校名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
1	760	瀬戸内町18番2号	日新小	校長	伴 文 夫	0878 61-5702	
2	"	"	"	5	南 原 志 伸	"	
3	"	"	"	4	日 下 哲 也	"	
4	"	錦町2丁目14番1号	二番丁小	教頭	古 沢 博 美	51-3741	
5	"	"	"	3	佐 藤 浩 子	"	
6	"	番町1丁目5番1号	四番丁小	教頭	植 松 勝	51-8390	
7	"	"	"	3	横 井 裕 子	"	
8	"	"	"	3	亀 井 伸 治	"	
9	"	"	"	6	金 崎 美 穂	"	
10	"	"	"	1	笠 井 裕 子	"	
11	"	"	"	県保健 体育課	虫 本 利 久	31-1111	
12	"	亀岡町10番1号	亀阜小	校長	橋 本 正 範	61-2013	
13	"	"	"	教頭	野 島 悟	"	
14	"	"	"	4	大 橋 けい子	"	
15	"	"	"	6	松 川 幸 代	"	
16	"	"	"	5	黒 川 浩 一	"	
17	"	栗林町2丁目10番7号	栗林小	3	高 橋 洋 子	"	
18	"	"	"	3	真 鍋 康 秀	"	
19	"	"	"	4	藤 田 忠 彦	"	
20	"	"	"	4	市 原 茂 幹	"	
21	"	"	"	5	松 下 繁 美	"	
22	"	"	"	5	緋 田 洋 子	"	
23	"	"	"	5	秋 友 朋 江	"	
24	"	花園町2丁目7番7号	花園小	3	喜 多 文 彦	31-9129	
25	"	"	"	4	中 野 仁 美	"	
26	"	築地町14番1	築地小	5	岡 本 英 孝	31-7188	
27	761	伏石町845番地1	太田小	5	上 井 嘉	65-4433	
28	"	"	"	4	福 家 正 人	"	
29	"	"	"	3	松 下 隆	"	

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学校名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
30	761-03	前田東町819番地 3	前 田 小	4	久 保 範 高	0878 47-6562	
31	"	東山崎町207番地 1	川 添 小	校長	岡 田 弘 治	47-6055	
32	"	"	"	障	木 村 ますみ	"	
33	"	"	"	6	森 正 彦	"	
34	"	"	"	5	山 地 順 子	"	
35	"	林町1108番地 1	林 小	2	岩 崎 正 敬	65-6250	
36	761-04	三谷町2173番地 1	三 溪 小	校長	寺 島 司 郎	89-0767	
37	"	"	"	2	陶 山 真 司	"	
38	"	"	"	専	大 奥 洋 介	"	
39	761	仏生山町甲2461番地	仏生山小	3	山 下 晃	89-0549	
40	"	香西南町703番地の1	香 西 小	4	黒 川 紀 子	81-3214	
41	"	"	"	5	宇喜多 孝 明	"	
42	"	"	"	2	大 前 浩 美	"	
43	"	一宮町672番地 1	一 宮 小	5	徳 田 仁 司	85-1764	
44	"	"	"	4	日 下 浩 子	"	
45	"	円座町1630番地の 2	円 座 小	6	西 宇 徹	85-2542	
46	"	"	"	5	井 上 泉	"	
47	"	"	"	3	多 田 明 広	"	
48	"	"	"	3	福 家 史 子	"	
49	"	御厩町816	檀 紙 小	4	谷 本 優 子	85-1715	
50	"	鬼無町佐藤607番地の1	鬼 無 小	2	田 辺 裕一朗	82-2413	
51	760	女木町236の 2	女 木 小	教頭	藤 田 和 代	73-0210	
52	"	男木町165番地	男 木 小	教頭	関 根 建 一	73-0506	
53	"	"	"	1	溝 内 哲 也	"	
54	"	"	"	6	富 永 淳 一	"	
55	761-04	川島東町864番地 1	川 島 小	4	寺 島 幹 人	48-0050	
56	"	"	"	3	増 田 泰 己	"	
57	760	木太町1530番地 1	木太南小	5	安 倍 幸 則	66-7295	
58	761-05	西植田町2337番地	植 田 小	6	蘆 原 秀 稔	49-0103	
59	760	松縄町807番地 1	中 央 小	5	松 本 眞知子	66-2938	
60	"	"	"	3	小阪田 和 子	"	
61	761-01	新田町甲2605番地	古高松南小	5	青 木 明 子	43-2467	
62	760	木太町2613番地	木太北部小	6	姫 田 朋 樹	31-4150	

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学校名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
63	761	生島町345番地	下笠居小	校長	池 上 宏	0878 81-3011	
64							
65			県教育 センター		藤 本 一 郎		
66			"		福 家 親 夫		
67			自然科学館		蓮 本 和 博		

丸亀市

番号	郵便番号	学校所在地	学校名	学 年	丸社研	会員氏名	学校電話	自宅電話
1	763	丸・中府町5丁目15-1	城乾小	4	○	池内 右典	22-8158	
2				6	○	大西 直人		
3		丸・今津町348	城坤小	1		堀金 美子	24-4705	
4				5	○	香川 久子		
5				5	○	北分 英樹		
6				6	○	合田 吉宏		
7				6	○	山野 正登		
8		丸・瓦町95	城北小	教頭	○	三井 尚	24-4700	
9				5	○	石川 裕之		
10				6	○	佐藤 真澄		
11		丸・六番丁12	城西小	教頭	○	官武 順一	22-9267	
12				5	○	三宅 弘信		
13		丸・田村町973	城南小	2	○	大喜多幸子	24-6177	
14		丸・土器町西5丁目113	城東小	2	○	香川 浩子		
15				5	○	田村 培雄		
16				6	○	増井 泰弘		
17				6	○	樋口 昌樹		
18						橋本きみ子		
19		丸・川西町北151	城辰小	教頭	○	詫間健太郎	28-7401	
20				5	○	坂口 智彦		
21				6	○	小山 善弘		
22		丸・郡家町790-1	郡家小	校長	○	大西 省三	28-8401	
23				4	○	金井 祐子		
24				4		寒川 英樹		
25				5	○	官武 紀子		

番号	郵便番号	学校所在地	学校名	学 年	丸社研	会員氏名	学校電話	自宅電話
26				5	○	久保山 学		
27				5	○	藤六 健		
28				6	○	高木 京子		
29		丸・飯野町西分113	飯野小	教務	○	高木 國廣	22-6019	
30		丸・垂水町1408	垂水小	1	○	若林菜穂子	28-7551	
31				3	○	高木由美子		
32				4	○	坂田 宏文		
33				5	○	橋本 康裕		
34		丸・広島町江の浦439	広島小	4	○	氏家 雅子	29-2031	
35		丸・広島町青木549	広島西小	6	○	梅川 禎	29-2332	
36		丸・広島町小手島2782	小手島小	教頭	○	横田 治	29-2751	

坂出市

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学校名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
1	762	白金町1-3-7	西 部 小	校長	曾 根 照 正	0877 46-2149	
2	"	"	"	5	稲 田 耕 一	"	
3	"	寿町3-1-2	中 央 小	5	大 西 浩 史	46-2124	
4	"	"	"	5	亀 井 彰	"	
5	"	"	"	2	高 橋 育 代	"	
6	"	室町1-1-21	東 部 小	教頭	丸 野 忠 義	46-0234	
7	"	"	"	教頭	鈴 木 清 子		
8	"	"	"	6	地 下 浩 文		
9	"	"	"	6	川 中 祥 照		
10	"	"	"	4	野 村 亮 子		
11	"	"	"	4	福 家 寿 夫		
12	"	"	"	4	門 久仁子		
13	"	谷町3-1-23	金 山 小	教頭	木 本 珠 城	46-2329	
14	"	林田町2191	林 田 小	校長	河 津 學	47-0270	
15	"	"	"	6	吉 田 和 弘	"	
16	"	"	"	1	管 小百合	"	
17	"	加茂町1099	加 茂 小	4	藤 本 洋 子	48-0601	
18	"	"	"	5	丸 尾 浩 一	"	
19	"	府中町1193	府 中 小	6	河 野 富 男	"	

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学校名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
20	762	高屋町1050	松 山 小	校長	久 米 千鶴子	0877 47-0606	
21	"	"	"	6	田 井 敏 之	"	
22	"	"	"	2	谷 本 量 子	"	
23	"	瀬居町1490	瀬 居 小	校長	山 下 緑	46-9194	
24	"	"	"	教頭	森 口 訓 行	"	
25	"	与島町263	与 島 小	4	平 澤 昌 司	43-0101	
26	"	岩黒240	岩 黒 小	4	金 関 太 郎	43-0104	
27	"	櫃石585-17	櫃 石 小	6	田 中 秀 年	43-0203	
28	"	文京町2-4-2	附坂出小	副校長	大 西 孝 典	46-2692	
29	"	"	"	3	岩 倉 隆 視	"	
30	"	"	"	4	宇 山 知 昌	"	

小豆郡

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
1	761-41	小・土庄町甲657-7	土庄小学校	5	羽座 則史	62-0068	
2		"	"	4	役重 和雅	"	
3		"	"	4	村川 絹子	"	
4		"	"	6	三崎 彰夫	"	
5		小・土庄町洲崎	洲崎小学校	2	亀山 典良	62-0072	
6		小・土庄町伊喜末381	四海小学校	3	佐々木 誠	64-5051	
7		小・土庄町見目	北浦小学校	2	金井 宏諾	65-2021	
8		小・土庄町大部甲1975	大部小学校	6	梅谷 旬	67-2120	
9	761-43	小・池田町大字蒲生	蒲生小学校	校長	川井千代子	75-0007	
10		"	"	教頭	浦 哲治	"	
11		小・池田町大字池田	池田小学校	4	竹上 聖子	75-2222	
12	761-44	小・内海町草壁本町	星城小学校	教頭	笠井恵美子	82-2011	
13		小・内海町安田	安田小学校	教頭	廣田 秀雄	82-2012	
14		"	"	5	川井 慶太	"	
15		"	"	6	寺嶋 俊秀	"	
16		小・内海町苗羽	苗羽小学校	1	楠原 一恵	82-2013	

大川郡

番号	郵便番号	学校所在地	学校名	学年	会 員 氏 名	学 校 電 話	自 宅 電 話
1	769-29	引田町南野204	相生小	同主	高 田 宏 隆	0879-33-3627	
2	"	"	"	6	窪 田 史 子	"	
3	"	引田町引田2068	引田小	校長	池 田 泰 造	0879-33-2036	
4	"	"	"	5	向 山 智 恵 子	"	
5	"	"	"	4	藤 岡 正 樹	"	
6	769-27	白鳥町松原167-1	本町小	5	佐 藤 正 文	0879-25-3064	
7	"	白鳥町白鳥525	白鳥小	教頭	大 山 宗 俊	0879-25-2642	
8	"	"	"	6	亀 井 健 男	"	
9	"	白鳥町与田山351-1	福栄小	教頭	大 岡 真 海	0879-27-2323	
10	"	"	"	6	古 澤 哲 夫	"	
11	769-26	大内町三本松862-1	三本松小	校長	安 部 武	0879-25-2664	
12	"	"	"	5	三 好 憲 昭	"	
13	"	"	"	3	山 下 博	"	
14	"	"	"	4	上 村 京 子	"	
15	"	大内町町田126-1	丹生小	同主	竹 田 具 治	"	
16	"	"	"	5	村 上 勝	"	
17	761-09	大川町富田西2595-2	富田小	校長	野 崎 智	0879-43-2016	
18	"	"	"	教頭	古 市 聖 治	"	
19	"	"	"	4	白 澤 一 修	"	
20	"	"	"	5	野 網 明 子	"	
21	769-23	寒川町神前1615	神前小	教頭	小 倉 健 治	0879-43-2124	
22	"	長尾町造田是弘688-1	造田小	校長	吉 岡 浩 一	0879-52-2141	
23	"	"	"	教頭	熊 田 正 美	"	
24	"	"	"	5	大 高 哲 也	"	
25	"	"	"	5	木 下 志 乃	"	
26	"	"	"	3	小 山 久 美	"	
27	"	長尾町多和助光東30-1	多和小	3	三 井 重 彰	0879-56-2002	
28	"	"	"	6	松 村 和 仁	"	
29	"	長尾町前山957-9	前山小	4	岩 崎 安 徳	0879-52-2801	
30	769-21	志度町大字志度727	志度小	3	大 山 博 文	0878-94-0041	
31	"	"	"	6	田 村 秀 史	"	
32	"	"	"	3	梅 本 明 宏	"	

番号	郵便番号	学校所在地	学校名	学年	会 員 氏 名	学 校 電 話	自 宅 電 話
33	"	志度町大字鴨庄2947	中央小	3	六 車 功	0878-95-1154	
34	"	"	"	6	大 石 桂 司	"	
35	769-24	津田町津田144	津田小	校長	亀 井 達 男	0879-42-2047	
36	"	"	"	教頭	八 木 育 夫	"	
37	"	"	"	3	桑 島 博 人	"	
38	"	津田町津田3645-5	北山小	教頭	西 尾 英 一	0879-42-2134	
39	"	津田町鶴羽781-2	鶴羽小	6	竹・内 久 司	0879-42-2041	

木田郡

番号	郵便番号	学校所在地	学校名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
1	761-07	三木町田中4620	田 中 小	3	森 口 英 樹	0878 98-0501	
2	761-01	牟礼町大町1560	牟 礼 小	5	檜 原 一 宏	45-9239	
3	"	"	"	4	六 車 健	"	
4	"	庵治町790-1	庵 治 小	5	長 野 俊 秋	71-2581	
5	"	"	"	3	田 口 美代子	"	
6	"	牟礼町牟礼2900-1	牟礼北小	4	益 田 隆 子	45-5742	
7	"	"	"	3	三 野 育 洋	"	
8	761-06	三木町小蓑	小 蓑 小	4	柴 原 照 子	99-1023	
9	761-07	三木町下高岡352-1	白 山 小	4	松 原 真由美	98-0257	
10	"	"	"	6	桑 原 康 孝	"	
11	"	"	"	5	泉 聡	"	
12	"	"	"	3	伊 藤 良 春	"	
13	761-06	三木町氷上2845	氷 上 小	6	鎌 田 芳 一	98-0710	
14	761-07	三木町平木710-1	平 井 小	3	白 井 ひとみ	98-0712 98-0713	
15	"	"	"	6	野 口 幸 嗣	"	
16	761-01	牟礼町牟礼2900-1	牟礼北小	教頭	高 尾 吉 臣	45-5742	
17	"	牟礼町大町1115-1	牟礼南小	5	柏 徹 哉	45-9324	
18	"	牟礼町大町1560	牟 礼 小	校長	北 堀 豊 清	45-9239	

香川郡

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学校名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
1	761-31	直島町1600	直 島 小	校長	鎌 野 修	0878 92-3007	
2	761-15	塩江町安原下2号1684	安 原 小	教頭	久 保 亮 三	97-0008	
3	761-15	塩江町安原下2号1684	安 原 小	5	田 岡 直 樹	0878 97-0008	
4	761-16	塩江町上西乙461	上 西 小	4	小 西 俊 毅	93-0045	
5	761-14	香南町横井1008	香 南 小	6	前 田 宏 之	79-2269	
6	"	"	"	4	池 田 誠	"	
7	"	"	"	1	中 田 由紀恵	"	
8	761-17	香川町川東上1865-8	川 東 小	6	塩 谷 かおる	79-2012	
9	"	"	"	4	松 原 伸 二	"	
10	"	"	"	6	長 岡 伸 幸	"	
11	"	香川町浅野3088	浅 野 小	6	小比賀 隆 之	89-0215	
12	"	"	"	6	長 谷 民 子	"	
13	"	"	"	2	篠 田 美津子	"	
14	"	"	"	1	小 坂 真有美	"	
15	"	香川町大野1045-1	大 野 小	障	平 尾 高 王	85-2165	
16	"	"	"	6	小 原 敏 昭	"	
17	"	"	"	3	川 田 康 代	"	
18	761-31	直島町1600	直 島 小	新採 担当	千 葉 雅 己	92-3007	
19	"	"	"	6	橋 本 英 敏	"	
20	"	"	"	4	増 田 敏 之	"	

綾 歌

期	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話	自宅電話
1	761-22	綾上町粉所西甲2060	綾上町立 粉 所 小	1年	末澤 康彦	0878-78-2312	
2	761-22	綾上町西分1208	綾上町立 西 分 小	4年	池内 洋子	0878-78-2013	
3 4	761-22	綾上町山田上甲1494-1	綾上町立 山 田 小	校長 6年	高品 優 福家 光洋	0878-78-2004	
5	761-22	綾上町羽床上788-1	綾上町立 羽床上小	1年	櫻原 佳代	0878-78-0820	
6 7 8	761-21	綾南町畑田2381	綾南町立 昭 和 小	4年 4年 2年	山本 香代子 倉野 晴代 西田 直美	0878-77-0519	
9 10 11	761-21	綾南町陶5878	綾南町立 陶 小	3年 1年 内留	竹下 紀子 土岐 味代子 有岡 俊文	0878-76-1182	
12	761-23	綾南町滝宮1100	綾南町立 滝 宮 小	6年	中西 昇	0878-76-1183	
13	761-23	綾南町羽床下2256	綾南町立 羽 床 小	3年	井上 真登	0878-76-1184	
14 15 16 17	769-01	国分寺町新居1880	国分寺町立国分寺北部小	6年 6年 6年 3年	波多 誠 牧野 啓造 藤田 順也 川井 國博	0878-74-1154	
18 19 20 21 22 23	769-01	国分寺町福家甲3005	国分寺町立国分寺南部小	教頭 教頭 6年 5年 3年 1年	山本 祐志 川上 由紀子 三好 道代 蓮本 悟美 眞井 孝征 青木 弥生	0878-74-1160	
24 25	761-24	綾歌町富熊1227	綾歌町立 富 熊 小	校長 4年	丸野 昭善 廣田 敏子	0877-86-2010	
26 27	761-24	綾歌町栗熊東323	綾歌町立 栗 熊 小	6年 3年	香川 佳和 藤岡 枝里子	0877-86-2002	
28 29 30	761-24	綾歌町岡田下217	綾歌町立 岡 田 小	教頭 5年 4年	坂東 英子 高吉 直之 野村 一夫	0877-86-3004	
31 32 33 34	762	飯山町川原1874	飯山町立 飯山北小	6年 4年 2年 教頭	田中 直樹 安藤 雅慶 荻原 洋子 永森 政代	0877-98-2020	
35	762	飯山町上法軍寺1206	飯山町立 飯山南小	5年	徳永 桂子	0877-98-2024	
36 37 38	769-02	宇多津町815	宇多津町立 宇多津小	校長 3年 1年	宮本 昭司 長友 章子 神田 仁美	0877-49-1820	
39 40	769-02	宇多津町	宇多津町立 宇多津北小	教頭 1年	宇多 龍児 木下 博美	0877-49-2000	

仲多度・普通寺

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学 校 名	学年	会 員 氏 名	学校電話番号	自宅電話番号
1	766	満濃町四条728	満濃町立四条小	校長	篠原 啓	73-5514	
2	"	"	"	教頭	水卜由文	"	
3	"	"	"	3	山下 敦	"	
4	"	"	"	6	香川英樹	"	
5	766	満濃町吉野74	満濃町立満濃南小	6	石井恭子	79-2110	
6	769-03	仲南町七箇2529	仲南町立仲南東小	6	大林博子	77-2140	
7	"	仲南町十郷20	仲南町立仲南西小	5	川田真司	77-2310	
8	"	仲南町十郷150-4	仲南町立仲南北小	6	竹田美知恵	75-4032	
9	766	琴平町145-1	琴平町立琴平小	5	岩崎保雄	73-2831	
10	"	琴平町上鶴梨26	琴平町立象郷小	教頭	梅木栄枝	73-2830	
11	764	多度津町三井433-1	多度津町立四箇小	6	森 昭	32-2517	
12	"	"	"	4	佐藤 仁	"	
13	"	多度津町奥白方1142	多度津町立白方小	5	小笠原民子	32-3331	
14	"	多度津町南鴨704	多度津町立豊原小	教頭	山下清明	32-2050	
15	"	"	"	専科	山根 進	"	
16	"	多度津町栄町三丁目1-8	多度津町立多度津小	4	片井 功	33-1616	
17	"	"	"	5	小林規子	"	
18	"	"	"	3	森 昭二	"	
19	765	普通寺市文京町四丁目5-1	普通寺市立中央小	1	松原千代子	62-1616	
20	"	"	"	5	山田泰二	"	
21	"	普通寺市稲木町450-1	普通寺市立東部小	教頭	梅木正信	62-0703	
22	"	"	"	5	高橋義徳	"	
23	"	"	"	1	黒田由美	"	
24	"	普通寺市中村町1575-2	普通寺市立筆岡小	3	山本可依子	62-0706	
25	"	"	"	4	瀬戸享子	"	
26	"	"	"	4	宮武克明	"	
27	"	普通寺市吉原町2811	普通寺市立吉原小	1	川田須美子	62-0707	

三 豊

番号	郵便番号	学 校 所 在 地	学校名	担当学年	氏 名	学 校 電 話	自宅の電話
1	769-16	三、大野原町丸井313	紀伊小	6年	高谷 浩輔	27-6244	
2	"	三、大野原町大野原1905	大野原小	5年	合田 雅氣	54-2029	
3	"	三、豊浜町和田浜1000	豊浜小	教頭	大山 正子	52-2029	
4	"	"	"	4年	柴田 英明	"	
5	"	"	"	6年	宝田小夜子	"	
6	"	"	"	5年	橋田 栄子	"	
7	768	観、観音寺町甲1186-2	観南小	4年	近藤あけみ	25-4675	
8	"	"	"	障害児	原 直史	"	
9	"	観、観音寺町甲670-2	観東小	校長	白川 安男	25-2219	
10	"	観、植田町365	常磐小	教頭	各務 清	25-2988	
11	"	"	"	1年	岡田 明子	"	
12	"	観、高屋町1877-1	高室小	校長	中田 清	25-2661	
13	"	観、柞田町1000-1	柞田小	6年	木村 勝美	25-3621	
14	"	観、粟井町1452	粟井小	教頭	西谷 剛一	27-6229	
15	"	観、古川町102-1	一ノ谷小	校長	牧野五十鈴	25-0204	
16	"	観、伊吹町309	伊吹小	6年	長谷川 剛	29-2103	
17	768-01	三、山本町辻1375	辻 小	教頭	渡邉久仁子	63-2037	
18	"	"	"	4年	井下 震二	"	
19	"	"	"	障 害 児	大久保 進	"	
20	"	三、山本町河内714	河内小	5年	安藤 清和	63-2019	
21	"	"	"	6年	石川 博健	"	
22	"	三、山本町大野457-1	大野小	6年	平川 博	63-2009	
23	"	三、山本町神田1259	神田小	5年	高橋 克佳	63-2193	
24	769-04	三、財田町財田中570	財田中小	2年	西山佳代子	67-2006	
25	"	"	"	障害児	宮武 一美	"	
26	"	三、財田町財田上726	財田上小	校長	藤田美代子	67-2005	
27	769-15	三、豊中町岡本188-1	桑山小	6年	宮武 昭裕	62-2103	
28	"	三、豊中町比地大2514-1	比地大小	5年	福岡 和信	62-2124	
29	"	三、豊中町上高野2384	上高野小	専科	安藤 通	62-2064	
30	767	三、高瀬町佐股甲1494-3	二ノ宮小	校長	三崎 澄久	74-6302	
31	"	三、高瀬町比地93	比地小	5年	萬亀 弘吉	72-5213	
32	"	"	"	4年	山木美保子	"	
33	"	三、高瀬町上高瀬783	上高瀬小	教頭	前田 高次	72-5309	
34	"	"	"	3年	横山 浩	"	
35	"	三、三野町大見甲3034-4	大見小	4年	森井 信一	72-5402	
36	769-14	三、仁尾町仁尾丙1736	仁尾小	教頭	渡邉 重忠	82-2049	
37	"	"	"	専科	秋元 一秀	"	
38	769-11	三、詫間町詫間2158	詫間小	4年	高浜 淳子	83-2858	
39	"	"	"	4年	臼杵 優	"	
40	"	"	"	6年	松岡 義樹	"	
41	"	三、詫間町松崎722	松崎小	3年	近藤 明子	83-2856	
42	769-11	三、詫間町箱551-1	箱浦小	教頭	香川 文男	84-7356	
43	"	"	"	5年	名越 盟人	"	
44	769-11	三、詫間町粟島1506-2	粟島小	校長	藤田 昌示	84-7012	

